



金沢学院大学
クラブスポーツガイド
2021



金沢学院大学
クラブスポーツガイド
2021



金沢学院大学
クラブスポーツガイド
2021

03 硬式野球部	23 トランポリン部	43 柔道部女子	63 弓道部	74 水泳部
07 サッカー部	27 バドミントン部男子	47 バスケットボール部男子	67 陸上部	75 剣道部
11 ラグビー部	31 バドミントン部女子	51 バスケットボール部女子	69 ゴルフ部	76 軟式野球部
15 ウエイトリフティング部	35 相撲部	55 バレーボール部	71 卓球部	
19 ソフトボール部	39 柔道部男子	59 ソフトテニス部	73 硬式テニス部	





硬式野球部

「地方の雄」の矜持を胸に
全国大会に5度出場

- ▶監督／角尾 貴宏
- ▶活動日／月～金(14:00～19:00)、土・日(9:00～17:00)
- ▶活動場所／大学総合グラウンド、第二屋内練習場
- ▶部員数／154名



大学野球の二大全国大会となる「全日本大学野球選手権大会」と「明治神宮野球大会」。1996年の創部以来、全日本大学野球選手権には2003年、2007年、2010年と出場を重ね、明治神宮大会には2000年、2019年の2度出場を果たすなど合わせて5度の出場を誇る。このうち、2019年の明治神宮大会ではベスト8に駒を進める実績を持つ。この背景には、創部翌年の1997年秋季から北陸大学野球I部リーグに昇格して以来、春秋のリーグ戦において11回優勝を重ねる「地方の雄」の底力がある。



明治神宮大会1回戦の対九州産業大学戦=2019年11月、神宮球場



19年ぶりの明治神宮大会出場を決めた対中京大学戦=2019年10月、小松弁慶スタジアム

年間スケジュール SCHEDULE

4	■ 北陸大学野球春季リーグ戦
5	■ 北陸大学野球春季リーグ戦
6	■ 全日本大学野球選手権大会
7	■ 北陸大学野球新人戦
8	■ 金沢市長杯争奪石川大学野球定期戦
9	■ 北陸大学野球秋季リーグ戦
10	■ 北陸大学野球秋季リーグ戦
II	■ 東海・北陸・愛知三連盟王座決定戦
2	■ 明治神宮野球大会
3	■ 春季強化合宿
	■ 強化遠征試合



松井 友飛 投手
(経営情報学部経営情報学科
3年・石川県立穴水高校出身)
高校時代は目立った実績は
なかったが、大学入学後に体
力づくりと球種を増やし頭角
を現す。2019年の明治神
宮大会では2試合とも先発
マウンドを任せられた。

監督の胸の内

「自覚と誇り」「切磋琢磨」。 大学野球人の原点を忘れず

「挑戦」。毎年掲げるスローガンに2020年はこの一言を選んだ。チームが一丸となって、自覚と責任、さらに向上心を持って挑戦し、練習に打ち込んでほしいとの思いからだ。野球を通じて知り合った仲間は一生の宝である。「全国制覇を達成するにふさわしい組織づくり」を目指し、仲間とともに進んでほしい。学生時代の全日本大学野球選手権大会優勝、社会人時代の都市対抗野球大会準優勝の経験から、厳しい練習を乗り越えた先にある達成感を部員たちにも経験させたい。

そのためには、「自覚と誇り」「切磋琢磨」という大学野球人としての原点を忘れず練習に打ち込むことが重要である。キャンパスでも部指定の制服を着用し、毎朝、始業前に部員全員が中庭に集まり、点呼を行うのも他の学生の模範であるためだ。創部から四半世紀の節目。「北陸の雄」から「全国制覇」へ。新たなステージに飛躍する手ごたえを感じている。

角尾 貴宏 監督



BASEBALL

信頼の指導者たち COACHING STAFF



幡谷 大介

助監督

1994年春のセンバツで金沢高校の完全試合達成の際、二塁手として出場。金沢学院大学に進学し、野球部創設に加わり、西濃運輸を経て2008年より現職。



辻 大樹

コーチ

和歌山県立和歌山商業高校卒。金沢学院大学に進学し、主務兼学生コーチとして全日本大学野球選手権大会に出場。2011年より現職。



長谷川 潤

コーチ

東京・成立学園高校、金沢学院大学卒。2016年、読売ジャイアンツに入団し投手として活躍。2019年に現役を引退し、2020年より現職。

▶ 主な戦績

2018

- 北陸大学野球春季リーグ戦(4~5月)
 - >> I部リーグ3位(7勝5敗、勝ち点3)
- 北陸大学野球新人戦(7月)
 - >> (準決勝0-0福井工業大)延長12回規定により敗退
- 北陸大学野球秋季リーグ戦(9~10月)
 - >> I部リーグ2位(7勝4敗、勝ち点3)

2019

- 北陸大学野球春季リーグ戦(4~5月)
 - >> I部リーグ2位(9勝2敗、勝ち点4)
- 北陸大学野球新人戦(7月)
 - >> 準優勝(決勝2-3金沢星稜大)
- 北陸大学野球秋季リーグ戦(9~10月)
 - >> I部リーグ2位(8勝3敗、勝ち点4)

- 東海・北陸・愛知3連盟王座決定戦
 - >> 優勝(準決勝2-0日本大学国際関係学部、決勝5-4中京大)
- 第50回明治神宮野球大会
 - >> 1回戦(8-5九州産業大)
 - 準々決勝(0-5関西大)

角尾貴宏監督／金沢高校、東北福祉大学卒。三塁手として甲子園に3度出場。大学3年次には大学日本一、4年次には選手権大会、明治神宮大会ともベスト8。社会人野球の西濃運輸を経て1997年より現職。



総合グラウンド

2018年に石川県内初となる人工芝野球場に改修された。両翼96mで外野部分はすべて人工芝となり、夜間照明も取り付けられている。



第二屋内練習場

雨天時、冬季期間に使用。4か所での打撃練習と3か所での投球練習を同時に行うことが可能。



野球部寮

自宅通学以外の野球部員は全寮制となっている。

岡田 淳芳 三塁手

(人間健康学部スポーツ健康学科3年
岡山・おかやま山陽高校出身)
俊足巧打の内野手として2年生からレギュラーの座をつかむ。2019年の神宮大会では5番打者としてタイムリーチーベースを放つなどチームの主軸として期待。



長谷川 威展 投手

(人間健康学部スポーツ健康学科3年
埼玉・花咲徳栄高校出身)
大学入学後にストレートを146キロまで伸ばし、2019年の侍ジャパン大学代表候補合宿に招集された期待のサイド左腕。



▶ 卒業生の主な就職先

[文学部]北川ヒューテック株、石川トヨタ株【経営情報学部】日本製鉄株、サイバートラスト株、JA中河内、株ネクサスエージェント、セントラルメディカル株、株武蔵野銀行、ジェイエフエフシステムズ株、静岡県警察【人間健康学部】日本生命保険相互会社、株ローソン、ウエルシア薬局株、大和ハウス工業株、大東建託パートナーズ株、コマニー株、株苗加不動産、富源商事株、関東西濃運輸株、小松マテーレ株、株ロキテクノ、綜合警備保障株、長野県教育委員会、名鉄協商株

PICK UP

ピックアップ選手

部員同士仲が良く、全員が野球に打ち込める環境

大学での目標は、北陸大学野球リーグでベストナインを獲得しての優勝と、神宮で主力打者としてチームを引っ張り日本一になることです。

金沢学院大学はスポーツがとても盛んで、他の競技の選手と交流することで、自分を高める上で刺激になっています。また、施設面も充実しており、部員全員が野球に打ち込める環境です。先輩後輩の垣根がなく、アットホームで部員同士とても仲が良いです！



野坂 侑暉

人間健康学部スポーツ健康学科3年
石川・遊學館高校出身

MESSAGE

マネージャーのメッセージ

技術だけでなく
人間性(心)の成長

私たち硬式野球部は、2019年の明治神宮大会において、全国ベスト8と新たな歴史を作る事が出来ました。今年も明治神宮大会出場と更なる上位進出を目指し日々精進しております。154人の部員が、同じ目標に向かって取り組むように、指導者とマネージャー、そして選手が同じ気持ちで一致団結し、練習に取り組んでいます。文武両道、礼儀を大切にしています。



掛谷 浩季

文学部文学科4年
静岡・飛龍高校出身



全国大会に新風吹き込む 総勢70名、新監督を迎える

金沢学院大学が男女共学となった1995年創部。新入部員は2019年度28名、20年度35名を数え、総勢70名を超えた。20年度からは監督に、日产自動車(現・横浜マリノス)のGKとして活躍後、富山県で高校サッカー界の発展に尽力してきた安井孝志氏を迎え、チーム力のレベルアップを図る。

目標は、「天皇杯」「総理大臣杯」「インカレ」の各全国大会で新風を巻き起こし、2020年度から加入した社会人3部リーグで躍進すること。19年5月には練習場が人工芝に整備された。夜間照明設備も設けられ、部員の士気は高まっている。

- ▶監督／安井 孝志
- ▶活動日／月～金(6:30～8:00, 17:00～19:30)、土(9:00～12:00)、休日(日)
- ▶活動場所／大学総合グラウンドサッカー場
- ▶部員数／70名



年間スケジュール SCHEDULE

4	■大学リーグ ■石川県選手権
5	■大学リーグ ■社会人リーグ
6	■大学リーグ ■社会人リーグ
7	■大学リーグ ■石川県選手権 ■社会人リーグ
8	■大学リーグ ■石川県選手権 ■社会人リーグ

9	■大学リーグ ■石川県選手権
10	■大学リーグ ■石川県選手権 ■社会人リーグ



中園 享成

(人間健康学部スポーツ健康学科1年・富山・富山第一高校出身)
全国強豪校の一つ富山第一のサイドバックを努める。攻守にわたって動き回りチーム勝利に貢献した。2019全国高校総体準優勝、全国高校選手権ベスト16。

ラグビー部

北陸から全国を見据えて
大学選手権出場に挑む



- ▶監督／野村 優成
- ▶活動日／月～金(6:30～8:00)※春シーズン4月～7月、(17:00～19:30)、土・日(9:30～12:00)
- ▶活動場所／大学総合グラウンド
- ▶部員数／51名(女子マネージャー1名含む)



東海学生リーグにあって、BリーグからAリーグ昇格に向けた戦いが続いている。2012年の創部から3年を経た15年、それまでの北陸リーグから舞台を変えて東海リーグに挑んだ。Cリーグからの険しいスタートであったが、激戦をくぐり抜けて一時はA2リーグにまで昇格。2020年は再びBリーグからAリーグを目指して戦いを繰り広げる。

日本航空高校石川をコーチとして初出場から8年連続全国高校ラグビーダービーに導いた野村優成監督の下、北陸から初の全国大学選手権大会出場を目標にあくなき挑戦を続けている。



年間スケジュール SCHEDULE

4	■東海学生リーグ7人制大会	9	■東海学生リーグ
5	■春季オープン戦	10	■東海学生リーグ
6	■春季オープン戦	11	■東海学生リーグ
7	■春季オープン戦	12	■冬季オープン戦
8	■強化合宿@菅平高原	2	■春季強化トレーニング月間
		3	■春季強化トレーニング月間

大嶋 寛大

(人間健康学部・スポーツ健康学科2年・石川・日本航空高校石川出身)
全国強豪校の一つ日本航空高校石川でスクラムハーフのレギュラーを務め、攻守にわたって動き回りチーム勝利に貢献した。2019福井国体5位入賞。





□ 監督の胸の内

ラグビー精神の体得

ラグビーは常にその競技特性からチームのために自分に何が求められ、何を成すべきかの判断を迫られる競技である。自ら状況判断し、冷静に物事をとらえ、何事にも勇敢に立ち向かうことのできる人材の育成を目指す。さらに指導の中では常にスタッフ一同が意識する指導理念がある。それは、品位・情熱・結束・規律・尊重の共通ワード。このワードは世界のラグビーを統括するワールドラグビーが掲げる「ラグビー憲章」に5つの「価値」として明記される。

ラグビーを通して「目先の勝利」のみを追求する集団ではなく、人間性および学生としての本質や社会性の追求を学生とともに考え、それを追求していく先に「勝利」を求める集団になりたいと考える。

野村 倫成 監督

石川県立鶴来高校、国際武道大学卒、同大学院修了。日本航空高校石川、北信越ユース代表、石川県選抜等でコーチングを行い、2013年より本学勤務。

RUGBY

信頼の指導者たち COACHING STAFF



畠田 恵司
【コーチ】

石川県立鶴来高校、國學院大学卒。2012年清水建設に入社し、同社ラグビー部「ブルーシャークス」に入部。7年間在籍した後、2019年度から本学勤務。



関沢 真一
【コーチ】

石川県立鶴来高校、大阪体育大学卒。2年連続全国大学選手権大会にプロップのレギュラーとして出場。2018年度から主にFWのスクラム・モール強化にあたる。



ウエイトトレーニングセンター

ラグビーは、力を抑制せず、相手に直接接触する形式のフルコンタクトスポーツであり、身体面の強さが勝敗に大きく影響する。本学ではウエイトトレーニング設備を完備し、ウエイトラック8台やエアロバイクなど充実した機器が並び、無駄なく身体を鍛えあける環境が整っている。

▶ 主な戦績

2018

■ 東海学生Bリーグ

>> 3位

2019

■ 東海学生Bリーグ

>> 5位



練習環境

雨や雪などでグラウンド練習ができない場合は、屋内練習場やウェイトトレーニングセンターで汗を流す。



比嘉 夢絃

(経営情報学部経営情報学科3年・沖縄県立北中城高校出身)
プロップとしてスクラムワークに強さと自信を持ちながら、フィールドプレーにおいてもバス・ランに非凡なセンスも持つ選手。2017年コベルコカップU18九州代表選手。

畠山 翔也

(人間健康学部スポーツ健康学科1年
北海道・札幌山の手高校出身)
全国強豪校の一つ札幌山の手高校でプロップのレギュラーを務め、攻守にわたってチームの屋台骨を支えた。U17北海道代表選手。第20回全国高校選抜大会出場。2019全国高校ラグビーフットボール大会出場。

PICK UP
ピックアップ選手

元気あふれるプレーで
伝える感謝の気持ち

2020年は東海学生大学Aリーグへ昇格することが最大の目標です。過去3年間は悔しい思いをしてきたので、今年は目標達成に向けてチームをけん引できるよう自分自身を高めています。自分たちがプレーできるのも、監督、コーチそしてお世話をいだく皆さまのおかげです。感謝の気持ちを忘ることなく、多くの人々の活力となるような元気あふれるプレーに励みます。



辻井 景多

人間健康学部スポーツ健康学科4年
福井県立若狭東高校出身

MESSAGE
マネージャーのメッセージ

「公式サイト」で
練習日記を日々更新

2019年度からマネージャーを務めています。選手やスタッフの方々に支えていただき、毎日活動しています。私たち金沢学院大学ラグビー部は北陸から全国大学選手権出場を目指します。私の仕事の一つにクラブホームページ「金沢学院大学ラグビー部 公式サイト」で練習日記の更新があります。活動の様子を皆さんに知りたいだけよう毎日更新しています。ぜひ一度ご覧ください。



宮澤 風優

経営情報学部経営情報学科2年
新潟・開志国際高校出身

ウエイトリフティング部

インカレ男女制覇

願わなければかなわない
世界をめざせ

「日本一は一人しかなれないが、日本一になる努力と工夫は、みんなに与えられた特権である」。この言葉を胸に部員たちは練習に打ち込む。まずウエイトリフティングを好きになる。そこから目標を掲げ、最後まで努力を重ねる。

全日本大学対抗女子ウエイトリフティング選手権大会で10回の優勝を誇り、八木かなえ選手はじめ学生や教職員が北京五輪、ロンドン五輪の舞台に進んだ。アテネ五輪男子監督を務めた菊田三代治氏の指導の下、先輩の背中を追い、先輩を超えようと部員たちの鍛錬は今日も続く。



▶監督／菊田 三代治 ▶男子 主将／金城 優人(スポーツ健康学科4年) ▶女子 主将／寺島 奈穂(スポーツ健康学科4年)
▶活動日／月・火・水・金(16:45~20:00)、土(9:30~12:30)、(16:00~19:00)、休日(木・日)
▶活動場所／金沢学院高校 体育館1階 ウエイトリフティング練習場
▶部員数／43名(男子26名、女子17名)



年間スケジュール SCHEDULE

4	■石川県春季大会
5	■全日本学生個人選手権大会
6	■全日本選手権大会
7	■全日本女子対抗選手権大会
8	■北信越学生個人選手権大会
9	■西日本学生選手権大会
10	■国民体育大会
11	■全日本大学対抗選手権大会
12	■全日本女子選抜選手権大会
2	■西日本学生新人選手権大会
3	■全日本学生選抜選手権大会
	■全日本学生新人選手権大会



金城 優人
(人間健康学部スポーツ健康学科4年・沖縄県立南部工業高校出身)
2019年、全日本学生選抜大会男子89キロ級で優勝。
スナッチ135キロ、ジャーク171キロ、トータル306キロ
はいずれも大会新を記録。

監督の胸の内

ウェイトリフティングは 素晴らしい 集え全国の高校生

「ウェイトリフティング競技は素晴らしいスポーツである」。ウェイトリフティングを志す若者には胸を張ってアピールしたい。そして、部員には、「ウェイトリフティングを好きになれ」と説く。記録を競うスポーツゆえに、始める年齢を問わず、Global Standard(世界基準)を目指せとも檄を飛ばす。強くなる秘訣は、目標と目的を明確にすべき。目標とは自分の夢であり、目的とは何のためなのか、誰のためのかを考えることである。

「己に克つ」「喝を入れる」「勝負に勝つ」の三つの「かつ」が欠かせない。自分で考え、工夫して、そして努力する。そうすれば必ず目標は達成できる。守(現在の指導を学び、基礎・基本を実践する)、破(試行錯誤を繰り返し、自分に合ったものを追求する)、離(基本を踏まえ、オリジナルな強化の推進を図る)を競技に生かすことが次なる飛躍のステップにつながっていく。指導スタッフに加えて、ケアスタッフもナショナルレベルである。その環境下で、自分を高めてほしい。

菊田 三代治 監督

石川県立飯田高校、愛知大学卒業、大阪体育大学卒業。
2004アテネオリンピック日本男子代表監督。

WEIGHT LIFTING

信頼の指導者たち

COACHING STAFF

阿波 佳宜

コーチ

京都府立加悦谷高校、九州国際大学卒業。高校日本記録樹立。

阿波 裕子

コーチ

石川県立飯田高校、早稲田大学卒業。大学時代、全日本学生選抜選手権大会4連覇。



伊良皆 理絵

(人間健康学部スポーツ健康学科4年・沖縄県立真和志高校出身)
軽量級期待の星。

▶主な戦績

2018

- 全日本大学対抗選手権大会 >> I部 7位
- 全日本大学女子対抗選手権大会 >> I部 優勝
- 全日本女子選抜選手権大会
-> 一般の部 優勝
- 西日本学生選手権大会 >> I部 2位
- 西日本学生女子選手権大会 >> 優勝

2019

- 世界選手権大会・世界大学選手権大会
-> 出場
- アジア選手権大会 >> 出場
- 全日本大学対抗選手権大会 >> I部 9位
- 全日本大学女子対抗選手権大会 >> I部 3位
- 全日本女子選抜選手権大会 >> 一般の部 3位
- 西日本学生選手権大会 >> I部 3位
- 西日本学生女子選手権大会 >> 2位



練習環境 施設は国内屈指の広さを誇り、同時に80人が練習できる28面プラットフォームを有する。トレーニング機器も完備し、目的に応じて、バランスよく鍛えることができる。



坂倉 里佳

(人間健康学部スポーツ健康学科4年・石川・金沢学院高校出身)
日本ジュニア記録樹立の実力者。



棚原 幹善

(人間健康学部スポーツ健康学科4年・沖縄県立沖縄工業高校出身)
センスは抜きんでている。今年はアッといわせる活躍を。



寺島 奈穂

(人間健康学部スポーツ健康学科4年・群馬・前橋育英高校出身)
2019年の全日本学生選抜選手権大会優勝の勢いでさらなる活躍を。



風巻 光

(人間健康学部スポーツ健康学科4年・新潟県立津南中等教育学校出身)
怪力はピカ一。高校時代は砲丸投げインターハイ選手。

PICK UP ピックアップ選手

日本一目指す最高の環境
練習器具や機器も充実

金沢学院大学ウェイトリフティング部練習場は広い。練習器具やトレーニング機器も多くそろっています。多くの部員たちと切磋琢磨しながら日本一を目指せる最高に恵まれた環境だと思います。私は、全日本大学対抗選手権大会では、最重量級の選手としての役割を果たせるよう自分を追い込み限界を突破したいと思っています。金沢学院大学と一緒に自らの心と体を鍛えていきましょう。



名護 毅

文学部文学科3年
沖縄県立沖縄工業高校出身

PICK UP ピックアップ選手

わからないことがあれば
先輩に相談できる安心感

まずは大学対抗選手権大会(インカレ)メンバーに選ばれることが最初の門闇です。それは全国で活躍する以上に部内で選考されるの方が厳しいからです。部員全員が一丸となって大学対抗戦で優勝することが私の目標です。人数が多い中、練習でわからないところがあれば、先輩や同期に聞くことができるのも魅力の一つです。練習面や生活面においても成長できる環境が整っています。



嵯峨 里佳子

芸術学部芸術学科2年
兵庫県立尼崎工業高校出身

●ソフトボール部

3位から飛躍を
視野に全日本選手権
「大学日本一」を



▶監督／多田 邦宏
▶活動日／火～金(16:30～20:00)、土・日(9:00～16:00)又は試合、休日(月)
▶活動場所／大学グラウンド(ソフトボール場)
▶部員数／41名



2019シーズンは大きな飛躍の年となった。チームは全日本大学選手権大会3位という輝かしい成績を残し、大学・クラブ・実業団が一同に集まり行われた北信越大会に優勝、日本で最も大きな大会である全日本総合選手権大会にも初出場し、注目を集めた。

2009年に部員わずか3名でスタートしたチームは、2018年に多田邦宏監督を迎えてステップアップした。「速く」「強く」「正確に」を合言葉に、目指すは「大学日本一」。トップを目指すには、チーム、そして個人がどうあるべきかを学生たちは真剣に考え、取り組んでいる。



年間スケジュール SCHEDULE

4	■全日本総合女子ソフトボール選手権大会 石川県予選
5	■全日本大学男女ソフトボール選手権大会 北信越予選
6	■全日本総合女子ソフトボール選手権大会 北信越予選
7	■北信越大学男女オープン大会 ■東日本大学ソフトボール選手権大会
8	■HAKUBA CUP大学女子ソフトボール大会 ■国体北信越ブロック予選 ■全日本大学男女ソフトボール選手権大会
9	■全日本総合女子選手権大会 ■国体
10	■北信越大学男女新人ソフトボール大会
11	■全国大学・実業団選抜大会 北海道・東北・北信越地区予選 ■全国大学・実業団選抜大会
2	■淡路島キャンプ
3	■阪神学生女子オープン大会 ■岡山オープン大会



ソフトボール場には屋根付きのダッグアウトも設置された。常に仲間のプレーに目を凝らす。

△監督の胸の内

「目標」でなく、「目的」こそが、 学生を限りなく成長させる

- ・自分の長所、欠点、特徴を冷静に見つめ、自分自身をよく理解すること
- ・この自画像に基づいて自分のやりたいこと、目標を明確に掲げること
- ・その目標を必ず達成するという強い志を持つこと
- ・その目標の達成に向かってやるべき事を日々の行動に移し、持続すること
- ・良いパフォーマンスや目標達成(成功)のイメージを持つこと
- ・逆境に直面したときこそ、自信を持って前向きに進むこと

人は目標を立てたとき、それに向かって努力する。

小さな目標でも、それが明確になると努力できる。

大きな目標であればあるほど、困難や苦痛を伴うが、しっかりとした明確なものになれば、より大きな努力をすることができる。

しかし、その目標を掲げた目的は何かと問うと、多くの学生は「感謝」という言葉を掲げるかもしれない。別な目的があるかもしれないが、そこには学生を限りなく成長させるものがある。

多田 邦宏 監督

SOFTBALL

信頼の指導者たち COACHING STAFF

多田 邦宏

監督

埼玉県公立高校教員を18年勤めた後、政府派遣でマレーシアに渡り、ソフトボールコーチに携わる。帰国後、日本リーグ2部の三島中央病院(全日本実業団選手権大会優勝2回)・日本リーグ1部の大鵬薬品の監督を経て神村学園高等部では、5年間で全国高校総体優勝、国体準優勝、全国選抜大会3位(2回)、全国私学大会準優勝などの成績を残す。2018年より本学監督に就任し、2年目で全国大学選手権大会3位、全日本総合選手権大会初出場に導く。

▶主な戦績

2018

- 全日本総合女子ソフトボール選手権大会 北信越予選会 > 出場
- 東日本大学ソフトボール選手権大会 > 出場
- HAKUBA CUP大学女子ソフトボール大会 > 3位
- 北信越大学男女新人ソフトボール選手権大会 > 優勝

2019

- 全日本総合女子ソフトボール選手権大会 北信越予選会 > 優勝
- 東日本大学ソフトボール選手権大会 > ベスト8
- HAKUBA CUP大学女子ソフトボール大会 > 雨天中止
- 全日本大学女子ソフトボール選手権大会 > 3位
- 全日本総合女子ソフトボール選手権大会 > 出場
- 北信越大学男女新人ソフトボール選手権大会 > 優勝



練習環境

学内のソフトボール場で練習に励む。2020年、グラウンドを水はけのよい土に入れ替えた。

氏丸 陽南

(人間健康学部スポーツ健康学科4年・兵庫・園田学園高校出身)
現在の主将であり、2019年のインカレでは打率6割を放ち今年の注目選手である。



福田 莉花

(人間健康学部スポーツ健康学科2年・富山・龍谷富山高校出身)
2019年のインカレ3位に導いたエース。



上田 萌々香

人間健康学部スポーツ健康学科1年
石川・金沢高校出身

PICK UP
ピックアップ選手

チームの日本一に
貢献するために

学年に関係なくそれぞれが思ったことを意見できる環境です。そのため、練習中も声を掛け合うことで、互いの息を合わせる連係プレーの質をより高めることにつながっています。体力面、技術面でもまだ先輩には及ばず、未熟なところはたくさんありますが、毎日の練習で基礎体力の向上と打撃や守りのレベルアップを図り、チームの勝利に貢献できる選手になれるよう努力します。



角平 優

文学部教育学科1年
福井県立福井商業高校出身

PICK UP
ピックアップ選手

一日も早く戦力になれるよう
投げ込み、走り込みで体力アップ

先輩方にはお手本になるピッチャーも多く、自分の持ち球であるライズボールを生かせるよう日々、練習に励んでいます。今春入学し、高校時代に使用していたゴムボールから革ボールに変わり、ボールの扱いに慣れるよう努めています。投げ込みを重ねて握力を強化し、走り込みで体力をアップすることで、一日も早く戦力としてチームに貢献できるようにします。ピンチにも動じないようなメンタルの強化も課題です。



▶卒業生の主な就職先

【経営情報学科】自衛隊 【スポーツ健康学科】SGホールディングス、株小松製作所、株リーディング、ウエルシア薬局(株)、福井県警、株塩浜工業、大和電機工業(株)(日本ソフトボールリーグ2部)、平林金属(日本ソフトボールリーグ2部)、上越教育大学大学院、自衛隊、長野県警、株ローソン、株サンウェルズ、兵庫県教員 【短大・食物栄養学科】株魚国総本社



トランポリン部

世界、全日本の女王を輩出 最高峰の戦いで快進撃

2019年に東京で開催された世界選手権で森ひかる選手が日本人として初の個人金メダルを獲得し、同期の高木裕美選手もOGの岸彩乃選手と組んだシンクロナイズドで同じく頂点に立った。これに先立つ全日本選手権では高木選手が初の女王に輝くなど、本学トランポリン部の躍進が例年になく際立った。

創部から24年。これまで五輪に4選手を送り出し、国内のトランポリン界をリードしてきた。日本体操協会でも長年、指導者を務める福井卓也、丸山章子両監督のもと、これからも世界をにらんだ選手の育成に突き進む。

- ▶監督／福井 卓也、丸山 章子
- ▶活動日／月～金(16:30～20:00)、土(9:00～12:00)、休日(週1回)
- ▶活動場所／第2体育館トランポリン練習場
- ▶部員数／26名(男子14名、女子12名)



野村 綾之介 選手

(人間健康学部スポーツ健康学科3年・大阪府立金剛高校出身)
2019年全日本選手権 団体3位

年間スケジュール SCHEDULE

5	■全日本年齢別トランポリン競技大会	12	■国際ジャパンオープン
8	■全日本学生トランポリン競技選手権大会	2	■都道府県対抗トランポリン競技選手権大会
9	■石川県選手権 ■西日本選手権		
10	■国民体育大会		
	■全日本トランポリン競技選手権大会		

森 ひかる 選手

(人間健康学部スポーツ健康学科3年・石川・金沢学院高校出身)

□ 監督の胸の内

地道な努力こそ頂上への道

トランポリンを通じて「人間力の育成」と一人一人の「競技力向上」を目指している。トランポリンは楽しいスポーツである。ただ、一流になるためには厳しい練習、苦しい練習が必要であり、常に「一石五鳥」「マイナスをプラスに」「スポーツマンシップ」を意識しなければならない。周囲への感謝の心を持ち、基本を忘れず、地道に努力する選手が頂点に立てるのである。チームとしては全日本選手権、全日本学生選手権の優勝を目指す。

福井 卓也 男子監督

日本体育大学荏原高校、日本体育大学、同大学院修了。全日本選手権で5回の優勝経験を持つ。1995年から本学勤務、男子監督。シドニー五輪、ロンドン五輪に男子コーチとして参加。金沢学院大学人間健康学部教授。

□ 監督の胸の内

人間力なくして競技力向上なし

世界を目指すレベルの高い選手であっても、「人間力なくして競技力の向上なし」である。自己ベスト更新を目標に日々厳しい練習を重ねることが、人間としての成長につながり、後輩や仲間への思いやりの心を育てることになる。大学4年間でトランポリンに打ち込み、努力を重ねることは、きっと社会へ出た時も役立つだろう。

丸山 章子 女子監督

石川県立二水高校、金沢大学、同大学院修了。1990年から全日本選手権9連覇、シドニー五輪6位などの記録を持つ。03年から本学勤務。女子監督。ロンドン五輪の女子コーチを務め、17年から日本体操協会トランポリン女子強化本部長。金沢学院大学人間健康学部教授。

TRAMPOLINE

▶ 主な戦績

2018

- 全日本選手権
- >> 男子団体 優勝
- >> 男子個人 8位
(宇田)
- >> 男子シンクロ 2位
- >> 女子団体 優勝
- >> 女子個人 優勝
- >> 女子シンクロ 優勝

2019

- 全日本選手権
- >> 男子団体 2位
- >> 男子個人 優勝 (中園)
- >> 男子シンクロ 優勝
- >> 女子団体 優勝
- >> 女子個人 優勝 (森)
- >> 女子シンクロ 優勝

信頼の指導者たち COACHING STAFF



横田 雄帆 コーチ

金沢東高校、早稲田大学卒。全国高校選手権優勝。全日本社会人大会準優勝。石川県国体強化コーチを務め、2017年度より本学トランポリン部コーチ。金沢学院大学勤務。



国際大会規格のトランポリン6台が常設されるなど、国内トップレベルの練習環境となっている。

演技を終えた直後、大画面モニターに再生されるビデオをチェックする選手。



茂木 日和 選手

(人間健康学部スポーツ健康学科2年・石川・遊學館高校出身)
高校時代はバントワリングで活躍。大学に入り、トランポリンに転向。1年目からインカレ出場で伸びしろに期待。



今井 薫桃 選手

(文学部教育学科2年・石川・金沢学院高校出身)
将来は幼稚園教諭を目指し、トランポリン競技に打ち込みながら免許取得のための勉強にも取り組む毎日。

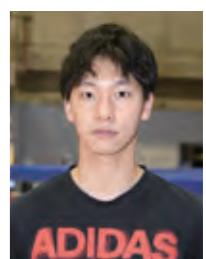


高木 裕美

人間健康学部スポーツ健康学科3年・石川・金沢学院高校出身

PICK UP ピックアップ選手

厳しさの中にも自由な気風自分を伸ばすには最良の環境
2019年は国際トランポリンジャパンオープン個人3位、世界トランポリン競技選手権大会出場を果たし、大学生活最後の年となる今年は悔いが残らないよう力を出し切った。金沢学院大学トランポリン部には全国から個性的な選手が集まり、自分の目指すトランポリンに打ち込んでいます。厳しさの中にも自由な気風があり、自分が伸ばしたい部分を伸ばすには最良の環境だと思います。



中園 貴登

経営情報学部経営情報学科4年・石川・金沢学院高校出身

PICK UP ピックアップ選手

世界で活躍する選手へ仲間と切磋琢磨の日々

世界で常に活躍できる選手になれるよう日々仲間と切磋琢磨しながら練習しています。辛いことや苦しいことはたくさんありますが、いつも笑顔を忘れず、練習やトレーニングに打ち込んでいます。練習に真剣に向き合うことで技術が成長、それとともに人間力も成長することにとてもやりがいを感じています。感謝の気持ちをいつも忘ることなくこれからも練習に励んでいきたいです。

バドミントン部男子

技術向上
社会人と切磋琢磨し
強豪復活へ飛躍を誓う

2020年は西日本大会団体優勝、個人ダブルスとシングルスの優勝を狙う。昨年は北信越選手権で優勝、準優勝の成績を残したものの、中部、西日本の大会では満足いく成績が残せず、悔しい一年となった。男子監督には世界のトップレベルでプレーした坂井一将が就任、日本代表選手たちの技術やトレーニング方法を部員に浸透させることに期待が高まる。1988年に強化部として正式に設けられ、過去計3回のインカレベスト4、計5回の西日本学生バドミントン選手権大会優勝を誇る強豪チームが復活を期す。

- ▶ 総 監 督／氣谷 篤人
- ▶ 監 督／坂井 一将
- ▶ 活 動 日／月～金(16:45～21:30)、土(9:00～13:00)
休日(日)
- ▶ 活動場所／第1体育館、第2体育館、外部体育館
- ▶ 部 員 数／49名



年間スケジュール SCHEDULE

4	<ul style="list-style-type: none"> ■ 北信越学生バドミントン選手権大会 ■ 石川県団体総合バドミントン選手権大会
5	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中部学生バドミントン選手権大会
8	<ul style="list-style-type: none"> ■ 北信越学生バドミントン個人選手権大会 ■ 全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会
9	<ul style="list-style-type: none"> ■ 西日本学生バドミントン選手権大会
10	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全日本学生バドミントン選手権大会
11	<ul style="list-style-type: none"> ■ 北信越学生バドミントン選手権大会
12	<ul style="list-style-type: none"> ■ 北信越学生バドミントン新人選手権 ■ 北國新聞社杯争奪石川県個人総合バドミントン選手権大会



□ 監督の胸の内

命運分ける「負けない戦い」 一流選手の心技体に学べ

バドミントンは対人競技である。ネット越しに對戦する相手との相対関係の中で勝敗が下される。どんなに自分の調子が良くても負けることがあり、調子が悪くても勝つことがある。世界のトップレベルの選手は、自分が不調の時にどうやって切り抜けるかの術を知っている。誰もが好不調の波がある。不調の時にもいかに負けない戦いを繰り広げられるか。そこに、一流選手の戦術と精神力がある。部員には世界で活躍する一流選手が持つ、心技体と戦術を伝えたい。目標を立てて、そこに到達するために逆算して何が必要かを考えてほしい。日本代表選手に一步でも近付き、インカレの上位入賞選手、日の丸を背負って世界で戦う選手を輩出できるよう部員ともども汗していきたい。

坂井 一将 男子監督

金沢市立工業高校卒。金沢学院クラブから日本ユニシスに移籍し2014年～16年の全日本社会人単3連覇。2017年インドネシアオープン単準優勝、全英オーブン単ベスト8、2019年全日本総合単3位などに輝く。2019年より金沢学院クラブに復帰。

BADMINTON

信頼の指導者たち COACHING STAFF



氣谷 篤人

総監督

金沢市立工業高校、日本大学。1985年インターハイ・全国選抜ダブルス準優勝、1989年全日本学生選手権ダブルス優勝。1990年トナミ運輸入社、1995年全日本総合混合優勝。2020年春より金沢学院クラブ女子チーム監督に就任。



藤田 遼

コーチ

滋賀・比叡山高校、金沢学院大学卒。2014年西日本インカレ団体優勝。2017年愛媛国体5位。金沢学院クラブのメンバーとして活動中。



中田 政秀

コーチ

埼玉栄高校、中央大学。2014年インターハイダブルス5位。2014年世界ジュニア選手権ダブルス準優勝。2015年インカレダブルス3位。金沢学院クラブのメンバーとして活動中。

▶ 主な戦績

2018

- 北信越リーグ(春) >> 優勝
- 中部日本学生バドミントン選手権大会
>> 団体準優勝 シングルス3位 ダブルス3位
- 西日本学生バドミントン選手権大会 >> 団体ベスト16
- 全日本学生バドミントン選手権大会 >> 団体出場
- 北信越リーグ(秋) >> 準優勝

2019

- 北信越リーグ(春) >> 準優勝
- 中部日本学生バドミントン選手権大会
>> 団体準優勝 シングルス準優勝 ダブルス3位
- 西日本学生バドミントン選手権大会
>> 団体ベスト16 シングルスベスト8 ダブルス3位
- 全日本学生バドミントン選手権大会 >> ダブルスベスト16
- 北信越リーグ(秋) >> 優勝



練習環境

第2体育館のバドミントンコート6面で練習する。Sリーグに参戦している金沢学院クラブの選手の指導を受ける。

PICK UP
ピックアップ選手

大学で悲願の全国優勝を

高校時代に全国優勝を目指していましたが、目標を達成することができませんでした。大学で全国優勝の夢を果たしたいと思いを強くし、金沢学院大学に入学しました。整った環境の中で、週6日、質の高い練習に取り組めます。世界大会を経験した監督やコーチから指導をいただけるのも心強く、仲間とともに鍛錬し、必ず悲願の全国優勝を成し遂げます。

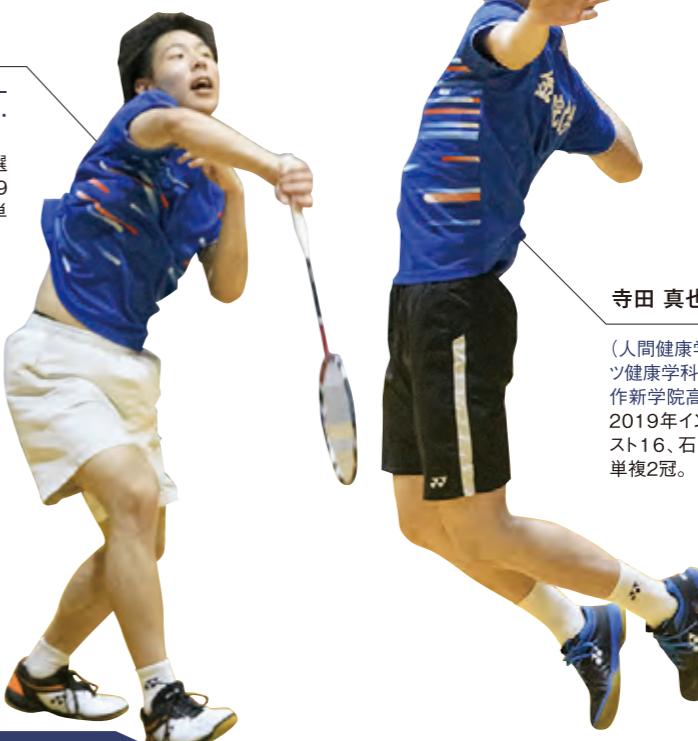


樋口 稜馬

人間健康学部スポーツ健康学科1年
宮崎・日章学園高校出身

奥田 陽介 選手

(人間健康学部スポーツ健康学科1年・石川・金沢学院高校出身)
2019年石川県総合選手権単準優勝、2019年石川県高校総体単優勝。



寺田 真也 選手

(人間健康学部スポーツ健康学科4年・栃木・作新学院高校出身)
2019年インカレ複ベスト16、石川県総合単複2冠。



伊藤 吏永 選手

(人間健康学部スポーツ健康学科3年・金沢市立工業高校出身)
2019年インカレ複ベスト16、石川県総合複優勝。

▶ 卒業生の主な就職先

【経営システム学科】日本郵便【経営情報学科】株サンウェルズ、ドリーム、正和堂【スポーツ健康学科】石川県教育委員会、長野県教育委員会、高知県教育委員会、栃木県教育委員会、生活協同組合コープながの、日経工産㈱

バドミントン部女子

新たな歴史を刻むため 進化と挑戦は続く

2020年は西日本大会ベスト4を目標にさらなるステップアップを目指す。2003年の部発足から、先輩たちが栄光を打ち立ててきた。2019年は、北信越リーグ春秋連覇、中部日本学生バドミントン選手権大会で団体ベスト4・シングルス優勝・ダブルス優勝、西日本学生バドミントン選手権大会で団体ベスト8の実績を果たす。そして今、新たな歴史を打ち立てるため、部員たちの進化と挑戦は続く。S/Jリーグに所属する金沢学院クラブと練習をともにすることで、刺激を受けながらさらなる技術の向上を図る。

- ▶ 総監督／氣谷 篤人
- ▶ 監督／茶谷 徳靖
- ▶ 活動日／月～金(16:45～21:30)、土(9:00～13:00)
休日(日)
- ▶ 活動場所／第1体育館、第2体育館、外部体育館
- ▶ 部員数／27名



年間スケジュール SCHEDULE

4	■ 北信越学生バドミントン選手権大会 ■ 石川県団体総合バドミントン選手権大会
5	■ 中部学生バドミントン選手権大会
8	■ 北信越学生バドミントン個人選手権大会 ■ 全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会
9	■ 西日本学生バドミントン選手権大会
10	■ 全日本学生バドミントン選手権大会
11	■ 北信越学生バドミントン選手権大会
12	■ 北信越学生バドミントン新人選手権 ■ 北國新聞社争奪石川県個人総合バドミントン選手権大会



若林 智代
(人間健康学部スポーツ健康学科3年・兵庫・須磨学園夙川高校出身)
2019年北信越個人選手権ダブルス優勝。



□ 監督の胸の内

努力は裏切らない! 日々の練習を全力で!!

部員も年々増え、チーム力は着実に向上している。レギュラーに入り試合に勝つためには、練習メニューを通して、実践に近い状況を作り出すしかない。本人の意識で可能性は広がっていく。20年以上バドミントンに携わってきた知識や経験を一つでも多く部員に伝えていきたい。現在、西日本学生選手権ではベスト8が最高成績となっている。まずはベスト4以上を目指し毎日の練習に取り組んでいる。選手個人個人の目標は違いはあるが、一人一人がその目標に向かって日々努力をしてほしいと思う。目標を達成するためのサポートを全力で行い、卒業する時に金沢学院大学バドミントン部に入ってよかったと思ってもらえるよう自分自身も選手一人一人に向き合っていきたい。また、部員には好成績を修めるだけでなく、社会に出たときに恥ずかしくない人間力を身に付けてほしい。

茶谷 徳靖 女子監督

金沢市立工業高校、金沢学院大学卒。1988年インターハイダブルス3位、国体少年の部3位。創部時のメンバーで2002年インカレ団体5位。金沢学院クラブの創部メンバーで、日本リーグ(現S/Jリーグ)に昇格させた。

BADMINTON

信頼の指導者たち COACHING STAFF



気谷 篤人
総監督

金沢市立工業高校、日本大学。1985年インターハイ・全国選抜ダブルス準優勝、1989年全日本学生選手権ダブルス優勝。1990年トナミ運輸入社、1995年全日本総合混合優勝。2020年春より金沢学院クラブ女子チーム監督に就任。



芝野 真由
コーチ

石川県立金沢向陽高校、専修大学卒。2010年インターハイダブルス5位。2014年インカレ5位。2020年春より金沢学院クラブ女子チームに所属。



古川 築
コーチ

三重・暁学園高校、金沢学院大学卒。2019年西日本インカレシングルス5位。2020年春より金沢学院クラブに所属。

▶ 主な戦績

2018

- 北信越リーグ(春) >> 優勝
- 中部日本学生バドミントン選手権大会
>> 団体準優勝 シングルス準優勝 ダブルス準優勝
- 西日本学生バドミントン選手権大会 >> 団体ベスト8
- 全日本学生バドミントン選手権大会 >> ダブルスベスト16
- 北信越リーグ(秋) >> 優勝

2019

- 北信越リーグ(春) >> 優勝
- 中部日本学生バドミントン選手権大会
>> 団体ベスト4 シングルス優勝 ダブルス優勝
- 西日本学生バドミントン選手権大会 >> 団体ベスト8
- 全日本学生バドミントン選手権大会 >> ダブルスベスト32
- 北信越リーグ(秋) >> 優勝



練習環境

第1体育館の3面で練習する。金沢学院高校や外部施設の体育館でも練習する。曜日によって練習場所は変わるが、一人一人がしっかりと練習できる環境を作っている。また、金沢学院クラブと一緒に練習する機会を設けている。



清田 若葉

(文学部教育学科2年・熊本・熊本信愛女学院高校出身)
2019年中部日本学生選手権大会シングルス準優勝

高木 梨名

(人間健康学部スポーツ健康学科2年・富山・富山国際大学附属高校出身)
2019年北信越新人選手権ダブルス3位

PICK UP ピックアップ選手

文武両道で 目標を達成

将来は、保育士、幼稚園教諭を目指しています。文学部教育学科では、2種類以上の免許、資格が取得できることから免許と資格取得に取り組みます。バドミントン部女子は西日本優勝目標に掲げて、部員同士励まし合いながら練習に打ち込みます。勉学との両立は大変なこともありますが、文武両道で目標達成に頑張ります。



県 菜々美

文学部教育学科1年
愛知・岡崎城西高校出身

▶ 卒業生の主な就職先

[文学部]石川県教育委員会、日本プロバター [経営情報学科]石川県警、株絹川商事
[スポーツ健康学科]日本郵便、太平ビルサービス株、明太化成株



相撲部

▶監督／山上 慶明
▶活動日／月～金(16:30～19:30)、土(9:00～12:00)、休日(日)
▶活動場所／金沢学院高校相撲場
▶部員数／10名

Aクラス復活へ巻き返す 炎鵬育んだ土壤受け継ぐ

大相撲幕内で躍進する炎鵬闘（本名・中村友哉）を輩出した土壤は今も受け継がれている。当時166cm、88kgと小柄だった中村の活躍で、2016年に西日本選手権大会の団体・個人優勝を果たしたのも個々に適した練習法と指導の賜物である。ここ数年、全国Bクラスに甘んじているが、Aクラス返り咲きを目指して部員たちは稽古に励む。

部員たちも卒業後は、社会に巣立っていく。相撲部はそのための修練の場である。礼儀や目上の人を敬う気持ちと態度を常に心掛けることを指導の前提としている。



年間スケジュール SCHEDULE

4	■全日本大学選抜相撲宇和島大会
5	■全国選抜大学・実業団対抗相撲和歌山大会
6	■西日本学生相撲選手権大会
7	■全日本大学選抜相撲金沢大会
8	■全日本大学選抜相撲十和田大会
9	■全国学生相撲個人体重別選手権大会
10	■石川県相撲選手権大会
11	■全国学生相撲選手権大会
12	■全日本相撲選手権大会



井手 純也

(人間健康学部スポーツ健康学科1年・千葉・拓殖大学紅陵高校出身)
力強い押し相撲でチームの全国3位のポイントゲッターとして活躍。全国高等学校相撲十和田大会団体3位。



□ 監督の胸の内

伝統校の上位独占に歯止めを 地方から風穴開ける意気込みで

金沢学院大学相撲部が自負するのは「地方の雄」としての存在である。全国大会では、関東、関西の古豪校が常に上位を独占する学生相撲界。その中にあって、古豪校に対抗できる意地と底力をを見せつけたい。何度失敗してもあきらめず、忍耐強く意志を搖るがさない。そしてここ一番、決して退かないという粘りを身に付けることが、そのため求められる。

稽古は、附属高校である金沢学院高校の相撲部と合同で行っている。礼節を重んじながらも先輩、後輩が切磋琢磨しながら技術を磨く。大学生は、高校生に胸を貰することで、後輩を指導する難しさや喜びを経験でき、将来は指導者を目指す部員にとって最適な環境と自負する。親や周囲の支えに感謝し、部訓である「不撓不屈」を胸に仲間とともに技術面を磨くことで精神を鍛える。今年は、新入生5名が入部し、部員は10名に増えた。まだまだ小さな所帯であるが、心一つに北陸から全国学生選手権の団体優勝を虎視眈々と狙う。

山上 慶明 監督

金沢学院東高校(現・金沢学院高校)、日本大学卒。
2002年本学勤務。全日本選手権3位。高校のコーチとして指導後、大学監督に就任。



練習環境

アマチュア相撲界でもトップクラスの設備を整えた道場を有し、相撲場単独でトイレやシャワー室、乾燥室を備える。廻しやタオル等の乾燥を毎日行い、常に衛生的な環境で練習を行える。怪我のケアのために製氷機や熱中症予防の対策も万全である。

SUMO

信頼の指導者たち COACHING STAFF



槻 光太

コーチ

金沢学院東高校(現・金沢学院高校)、
金沢学院大学卒。高校相撲金沢大会
団体3位、西日本学生相撲選手権大
会団体優勝、全日本大学選抜相撲金
沢大会団体3位などの成績を収め、
2019年から本学勤務、相撲部コーチ。
金沢学院高校相撲部コーチも務める。



▶ 主な戦績

2018

- 西日本学生相撲選手権大会 > 6位
- 全日本大学選抜金沢大会 > 団体 出場
- 石川県選手権大会 > 団体 優勝
- 全国学生相撲選手権大会 > Bクラス ベスト8

2019

- 日本学生相撲選手権大会 > 2部 団体 2位
- 全日本大学選抜金沢大会 > 団体 出場
- 全国学生相撲選手権大会 > Bクラス ベスト8

瀬戸 太陽

(経済学部経営学科1年・石川・金沢学院高校出身)

体はあまり大きくないが、
持ち前のスピードを活かし、
インターハイ団体3位の原動力となつた。
インターハイ団体3位、全国高
等学校選抜大会個人
100kg未満級2位。



篠田 宏介

(文学部教育学科2年・石川・
金沢学院高校出身)
小兵ながら素早い動きで相手
を翻弄する。西日本学生相撲
選手権団体2部準優に貢献。
2019西日本学生相撲選手
権大会団体2部準優勝。



池田 俊

経済学部経営学科1年
石川・金沢学院高校出身
(2019年国民体育大会少年の部個人2位)

▶ 卒業生の主な就職先

【経営情報学科】中越クリーンサービス株式会社 【経営ビジネス学科】株小松電業所 【経営システム学科】コマニー(株)
【スポーツ健康学科】東和株、学校法人金沢学院大学

PICK UP ピックアップ選手

Aクラス復帰が目標 恵まれた環境に感謝

今年は主将としての自覚を持ってチームをまとめるように心掛けている。「Aクラス復帰」を目標に掲げて、日々稽古に励んでいます。相撲部内は、学年を問わず全員の仲が良く、互いに何でも相談できるとても明るい雰囲気です。練習場や学校の設備が整っており、恵まれた環境の中で毎日稽古に打ち込めるに感謝し、歴代の先輩方に負けない成績を残すよう精進します。



川田 大介

経営情報学部経営情報学科4年
石川・金沢学院高校出身

PICK UP ピックアップ選手

目指すは全国大会優勝 地元の大学で夢果たしたい

金沢学院大学の相撲場は広く、学内にある練習場やトレーニング施設も大変充実しています。地元石川県の大学で全国大会優勝の夢を果たしたいと考え、入学を決めました。日々土俵で一緒に汗する高校生選手からも大きな刺激を受けています。チーム一丸となって全国大会優勝という目標を達成するため、体力をつけ、技を磨いて、相撲が上達するよう日々の稽古に励みます。



池田 俊

経済学部経営学科1年
石川・金沢学院高校出身
(2019年国民体育大会少年の部個人2位)

柔道部男子

人間教育を主眼に 柔道を通した 北信越体重別で団体優勝

全日本学生大会では、1995年の創部以来、団体、個人ともに常に上位に食い込んでいる。2013年までは北信越柔道優勝大会で団体17連覇の偉業も達成した。19年は北信越学生柔道体重別選手権大会で団体優勝、1階級で優勝を果たすなど健闘を見せた。主軸は2、3年生であり、さらなる飛躍が期待される。

1989年の全日本柔道選手権大会3位だった金沢学院大学人間健康学部教授の渡辺直勇氏が指導に当たる。学生とのコミュニケーションを重視、精神的な弱さの克服と基礎的なトレーニングの反復で「柔道を通した人間教育」を主眼に置く。自らを律して厳しい練習を乗り越えた先の成長を見据えて「日本一」を目指す。

- ▶監督／渡辺直勇
- ▶活動日／月～金(6:30～7:30)、(16:30～19:30)
土(9:00～12:00)、休日(日)
- ▶活動場所／第2体育館1階柔道場
- ▶部員数／45名



年間スケジュール SCHEDULE

5	■北信越学生柔道優勝大会 ■石川県ジュニア体重別選手権大会
6	■全日本学生柔道優勝大会(団体)
7	■北信越ジュニア体重別選手権大会 ■石川県国体予選
8	■北信越国体 ■北信越学生柔道選手権大会 ■強化合宿
9	■全日本ジュニア柔道体重別選手権大会 ■全日本学生柔道体重別選手権大会 ■強化合宿
10	■全日本学生柔道体重別団体優勝大会
11	■講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 ■済谷杯全国学生体重別選手権大会
12	■石川県段別大会(男子)
1	■寒稽古
2	■石川県柔道選手権大会 ■強化合宿
3	■北信越柔道選手権大会 ■強化合宿

□ 監督の胸の内
「文武不岐」。学問に打ち込み、稽古を重ねる

「文武不岐」。学問と武道はそれぞれに道が分かれているわけではなく、一つの道にすべてがあると説く。文と武は別の中の考え方にして、両道となるが、学問に打ち込み、武道の稽古を重ねることを一つの道として、人は成長するのである。選手として柔道に関わる時間は人生の中で限られている。選手生活を終えて、世に出た時に社会性を身に付けていなければ通用しない。稽古を重ねて強くなることは必要だが、それ以上に大切なことを学んでほしい。

そしてもう一つ大切なことは、「わかる」と「できる」の違いである。柔道は相手と組み、相手を制する武術である。しかし、体の大きな者、背の高い者が必ず勝つわけではない。相手の特徴をよく知り、技を観察して、どう対応するかが勝負の決め手となる。

そのためには、相手を知ったうえで、相手が仕掛けてきた時に対処できることが求められる。相手を理解したからといって、できたような気になってはいけない。相手を知り、自分を知る。そのうえで最善を尽くしてこそ勝つことにつながるのである。

渡辺 直勇 監督

JUDO
信頼の指導者たち COACHING STAFF

渡辺 直勇

監督

旭川龍谷高校、筑波大学卒、同大学院修了、1989年全日本選手権大会3位。石川・金沢学院東高校(現・金沢学院高校)に勤務しながら、1995年創部時より監督として指導を行う。2006年金沢学院短期大学、2011年より金沢学院大学勤務。金沢学院大学人間健康学部教授。

▶ 主な戦績

2018

- 北信越学生柔道優勝大会 >> 団体 優勝
- 全日本学生柔道優勝大会 >> 出場
- 北信越学生柔道体重別選手権大会 >> 5階級 優勝
- 全日本学生柔道体重別選手権大会 >> 出場
- 北信越学生柔道体重別団体優勝大会 >> 団体 優勝
- 全日本学生柔道体重別団体優勝大会 >> 出場
- アジアオープン香港国際柔道大会 >> 100kg級 須田晃人 2位

2019

- 北信越学生柔道優勝大会 >> 団体 準優勝
- 全日本学生柔道優勝大会 >> 出場
- 北信越学生柔道体重別選手権大会 >> 1階級 優勝
- 全日本学生柔道体重別選手権大会 >> 出場
- 北信越学生柔道体重別団体優勝大会 >> 団体 優勝
- 全日本学生柔道体重別団体優勝大会 >> 出場



練習環境

第2体育館1階に畠264枚が敷かれている(広さ572m²)。



中村 拓郎 選手

(人間健康学部スポーツ健康学科3年・大阪・常翔学園高校出身)
北信越学生選手権大会優勝



黒坂 雄大 選手

(人間健康学部スポーツ健康学科3年・北海道・旭川龍谷高校出身)
北信越学生選手権大会優勝



岡田 龍馬

人間健康学部スポーツ健康学科3年・京都・京都文教高校出身



▶ 卒業生の主な就職先

【国際文化学科】北海道警【経営情報学科】富山県警、綜合警備保障株【経営ビジネス学科】金沢刑務所刑務官、株センコー【経営システム学科】大阪府警【スポーツ健康学科】石川県警、埼玉県警、自衛隊体育学校、旭川消防署



柔道部女子

刻むための挑戦 北信越柔道優勝大会 団体10連覇。新たな歴史を

北信越柔道優勝大会では団体10連覇を続ける。1993年の創部以来、北信越では常に安定した結果を残し、全国大会での上位入賞を目指し挑み続けている。関東・関西の強豪がしのぎを削る中、地方から勝ち上がり、大学女子柔道に新たな歴史を刻もうとの思いを部員が共有する。

監督は、バルセロナ五輪日本代表で金沢学院大学人間健康学部教授の渡辺涼子氏。2016年からは全日本柔道連盟で強化副委員長(女子)を務める。選手、指導者としての大舞台経験を生かし、心技体の指導に力を尽くす。

- ▶監督／渡辺涼子
- ▶活動日／月～金(6:30～7:30, 16:30～19:30)、土(9:00～12:00)、休日(日)
- ▶活動場所／大学第2体育館1階(柔道場)
- ▶部員数／14名



年間スケジュール SCHEDULE

4	■皇后杯全日本女子柔道選手権大会(女子)
5	■北信越学生柔道優勝大会 ■石川県ジュニア体重別選手権大会
6	■全日本学生柔道優勝大会(団体)
7	■北信越ジュニア体重別選手権大会
8	■北信越国体 ■北信越学生柔道選手権大会 ■強化合宿
9	■全日本ジュニア柔道体重別選手権大会 ■全日本学生柔道体重別選手権大会 ■強化合宿
10	■全日本学生柔道体重別団体優勝大会
11	■講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 ■湊谷杯全国学生体重別選手権大会
1	■寒稽古
2	■石川県柔道選手権大会 ■強化合宿
3	■北信越柔道選手権大会 ■強化合宿



監督の胸の内

目の前のチャンスをつかむ 不断の努力で常に備えを

「チャンスを大切にする」。「一瞬を逃さず、訪れた好機をつかみ取れ」。選手として、指導者として多くの大舞台を経験したからこそ、その言葉に力が入る。目の前に現れた機会をモノにするには、常日頃からの準備が欠かせないと部員に説く。

目指すのは、柔道を通した人間的な成長である。そのためには、日頃から当たり前のことを当たり前に繰り返すことが大切になってくる。細かいことを丁寧にやりきれるか、反復できるか。その単純な積み重ねが大きな結果となって返ってくることを部員には理解してほしいと強調する。試合で相手と組んだ時、粘り強く寝技を持ち込んだ時。自らが考えて取り組んできた「当たり前のこと」が実を結ぶのである。それは柔道の試合だけではなく、社会に出てからも同様である。4年間でどう成長するか、何を目標に掲げて行動するか。選手として、人間としての上のステージを目指して成長を続けてほしいと願っている。

渡辺 涼子 女子監督

岡山県立児島高校(現・倉敷鷺羽高校)、筑波大学卒、同大学院修了。パルゼロナ五輪出場。世界柔道選手権大会3位(1986,1991年)。92年監督就任。2012~2016全日本女子ジュニアヘッドコーチ。現在は全日本柔道連盟強化副委員長。金沢学院大学人間健康学部教授。



信頼の指導者たち COACHING STAFF



橋高 朱里

女子コーチ

石川・金沢学院東高校(現・金沢学院高校)、金沢学院大学卒、同大学院修了。全国高等学校体重別選手権大会優勝(2011)、国体石川県代表、ボーランドジュニア国際大会優勝(2015)、公認柔道指導者B指導員資格を持つ。2020年より本学勤務。



練習環境

第2体育館1階に置264枚が敷かれている(広さ572m²)。

▶ 主な戦績

2018

- 北信越学生柔道優勝大会 >> 団体 優勝
- 北信越学生柔道体重別選手権大会 >> 7階級 優勝
- 全日本学生柔道体重別選手権大会
→ 78kg 3位 松田なみき、78kg 3位 清水美緒
- 全日本学生柔道体重別団体優勝大会 >> ベスト8

2019

- 北信越学生柔道優勝大会 >> 団体 優勝
- 北信越学生柔道体重別選手権大会 >> 7階級 優勝
- 全日本学生柔道体重別選手権大会 >> 48kg 5位 小林桃果
- 全日本学生柔道体重別選手権大会
→ 78kg 2位 松田なみき、78kg超 ベスト8 黒坂麻樹
- 全日本学生柔道体重別団体優勝大会 >> ベスト8



PICK UP ピックアップ選手

柔道を通して社会に貢献できる選手を目指して

私たちは、全員が全国大会で1勝することを目指し日々練習に励んでいます。そのため、お互いに感じたことを共有し指摘し合いながら、チーム全体のレベルを高めていくことが大切だと感じています。私は、技術の向上や試合で勝つことはもちろんですが、柔道を通して社会に貢献できる人間を目指していきたいと思います。また、支えていただいている方々に感謝の気持ちを忘れずに、精一杯努力していきたいと思います。



佐々木 郁実
文学部教育学科3年
石川・金沢学院高校出身



渡辺 悠花

(人間健康学部スポーツ健康学科1年・東京・渋谷教育学園渋谷高校出身)
2019インターハイ東京都予選団体3位

山崎 椎奈

(文学部教育学科2年・福井・敦賀高校出身)
2019北信越学生柔道体重別選手権大会優勝



▶ 卒業生の主な就職先

[スポーツ健康学科] 警視庁、和歌山県警、静岡県警、徳島県警、長野県警、大阪府警、JR九州、綜合警備保障株

バスケットボール部男子

**北信越1部昇格に全力
インカレ出場を誓う**



団結力には定評のあるチーム。部員一人一人が自分に課せられた役割を理解し、努力を重ねることがチームワークを育んでいく。そのためには、考えて行動する自主性を養うことから始まる。学年を超えて仲間を思いやり、励まし助け合い、時にはぶつかり合いながら「最高の自分、最高のチーム」へと生まれ変わるために日々練習に取り組んでいる。

2020年の目標には、インカレ出場を掲げる。そしてまずは北信越リーグの1部昇格が必須である。県内の各大学としのぎを削る戦いを繰り広げ、目標を達成するために着実に力をつけていく。

▶監督／坂本正樹
▶活動日／火～金(16:30～19:30)、土(13:00～16:00)、日(9:00～13:00)、休日(月)
▶活動場所／第1体育館
▶部員数／29名



年間スケジュール SCHEDULE

4	■ 笹本杯争奪北信越大学 バスケットボール春季大学リーグ戦
5	■ 社会人リーグ
6	■ 西日本学生選手権大会 ■ 石川県総合選手権大会 (皇后杯石川県予選)
10	■ 北信越学生バスケットボール 選手権大会兼インカレ予選
12	■ 全日本大学バスケットボール選手権大会 (インカレ)
2	■ 安田杯争奪石川県学生 バスケットボール選手権

田畠 雄哉
(経営情報学部経営情報
学科4年・石川・金沢学院
高校出身)
3ポイントシュートを得意とし、
強豪チーム相手でも臆することなく得点を量産する。本
チームのエースである。



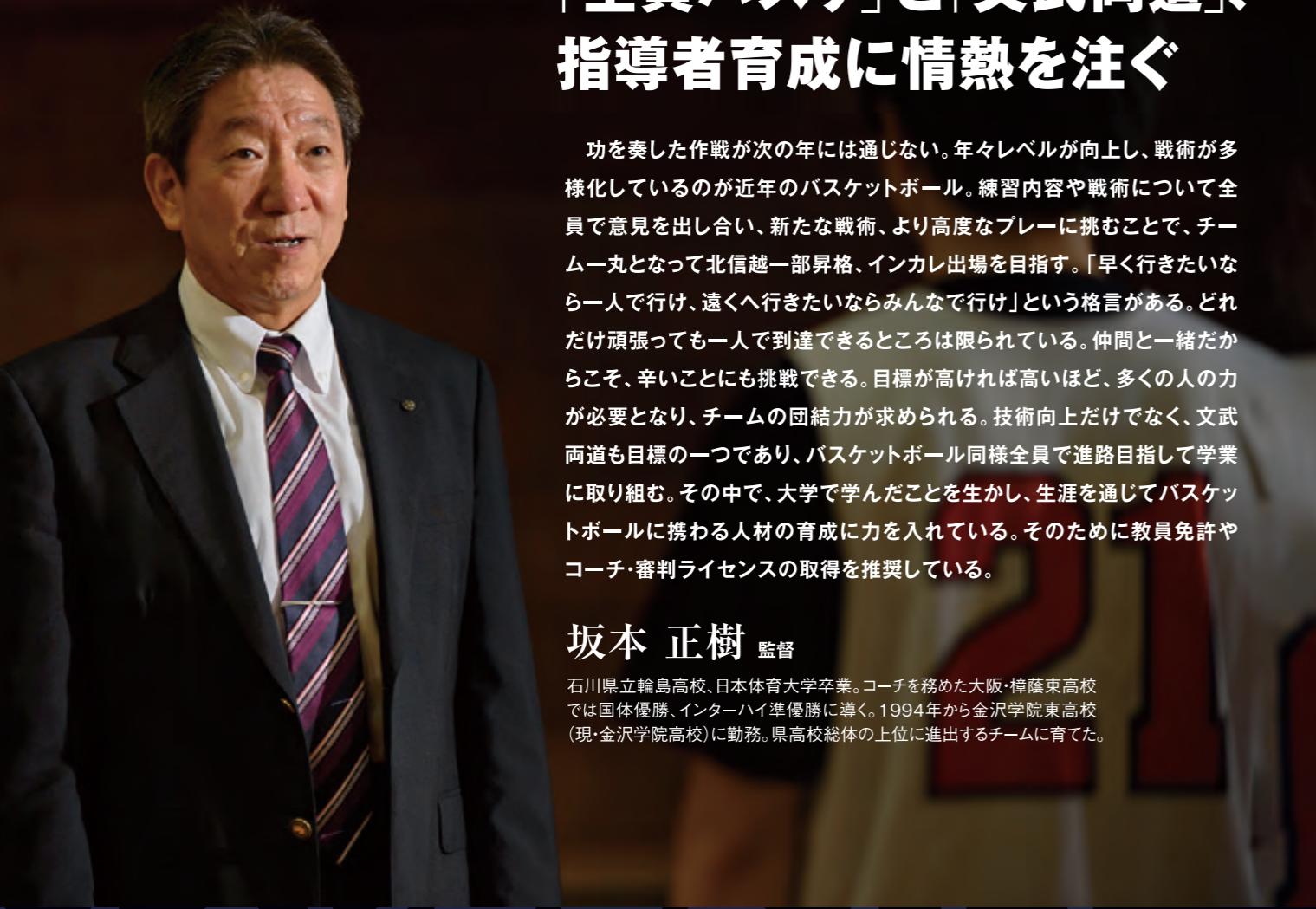
□ 監督の胸の内

「全員バスケ」と「文武両道」、 指導者育成に情熱を注ぐ

功を奏した作戦が次の年には通じない。年々レベルが向上し、戦術が多様化しているのが近年のバスケットボール。練習内容や戦術について全員で意見を出し合い、新たな戦術、より高度なプレーに挑むことで、チーム一丸となって北信越一部昇格、インカレ出場を目指す。「早く行きたいなら一人で行け、遠くへ行きたいならみんなで行け」という格言がある。どれだけ頑張っても一人で到達できるところは限られている。仲間と一緒にだからこそ、辛いことにも挑戦できる。目標が高ければ高いほど、多くの人の力が必要となり、チームの団結力が求められる。技術向上だけでなく、文武両道も目標の一つであり、バスケットボール同様全員で進路目指して学業に取り組む。その中で、大学で学んだことを生かし、生涯を通じてバスケットボールに携わる人材の育成に力を入れている。そのため教員免許やコーチ・審判ライセンスの取得を推奨している。

坂本 正樹 監督

石川県立輪島高校、日本体育大学卒業。コーチを務めた大阪・樟蔭東高校では国体優勝、インターハイ準優勝に導く。1994年から金沢学院東高校(現・金沢学院高校)に勤務。県高校総体の上位に進出するチームに育てた。



BASKETBALL

信頼の指導者たち COACHING STAFF



北村 欣也

コーチ

京都洛南高校、順天堂大学卒。インターハイベスト4、ウインターカップ3位、国体成年男子3位。全日本クラブ選手権優勝(石川ブルースパーズ)。



▶ 主な戦績

2018

- 近県大会 >> 優勝
- 笹本杯争奪北信越大学バスケットボール春季リーグ戦 >> 3部B 優勝
- 西日本学生選手権 >> 二回戦敗退
- 石川県総合選手権 >> ベスト16
- 北信越大学選手権大会兼インカレ予選 >> 二回戦敗退
- 石川県学生選手権 >> 4位

2019

- 近県大会 >> 二回戦敗退
- 笹本杯争奪北信越大学バスケットボール春季リーグ戦 >> 3部 3位
- 西日本学生選手権 >> 二回戦敗退
- 石川県総合選手権 >> 一回戦敗退
- 北信越大学選手権大会兼インカレ予選 >> 二回戦敗退
- 石川県学生選手権 >> 4位



練習環境

第1体育館で週4日練習を行う。

三輪 哲矢

(人間健康学部スポーツ健康学科1年・長野市立長野高校出身)
高速ドリブルが魅力の司令塔。



高木 健正

(短大・食物栄養学科2年・石川・金沢学院高校出身)
恵まれた体格を生かして攻守にわたってチームに貢献。本チームの中心選手である。



横川 まなみ(左)

人間健康学部健康栄養学科2年
新潟県立新井高校出身

森山 優香(右)

人間健康学部健康栄養学科2年
新潟・新潟第一高校出身

▶ 卒業生の主な就職先

【医学科】AOIホールディングス(株)【経営情報学科】今村証券(株)【経営システム学科】ニューハウス工業(株)
【スポーツ健康学科】日本郵政、石川ヤナセ(株)、福井県民生活協同組合、(株)エラン、(株)電陽社、JA志賀

PICK UP ピックアップ選手

北信越1部昇格が目標
仲間に信頼される存在に

2020年は北信越大学リーグ1部への昇格を目標に定めました。新たに主将を任せられ、どんな場面でもチームメイトから頼りにされる存在でありたいと思っています。中学校時代に全国バスケットボール大会で優勝した経験をはじめ、これまでのバスケットボールのキャリアの中で学んできたことを生かし、支えていただいている方々への感謝の気持ちを忘れず、活動していきます。



中藪 格

人間健康学部スポーツ健康学科3年
石川・金沢学院高校出身

MESSAGE マネージャーのメッセージ

管理栄養士の勉強と
マネージャーの活動を両立

練習や試合でマネージャーとして、選手が有意義な活動ができるようにサポートを頑張っています。選手同士仲が良く明るい雰囲気で活動しています。将来、管理栄養士になるための勉強と部活を両立しながらこれからもチームの役に立てるよう心掛けたいと思います。



横川 まなみ(左)

人間健康学部健康栄養学科2年
新潟県立新井高校出身

森山 優香(右)

人間健康学部健康栄養学科2年
新潟・新潟第一高校出身



バスケットボール部女子

B
ASKET
BALL

目標はインカレ出場
指導者育成にも力

昨年度からインカレ出場を目標に掲げる。昨年の春季リーグでは2部優勝、インカレ予選第3位と、初のインカレ出場まであと一歩に迫った。部員には石川県の成年女子団体の候補選手もあり、チームは日々着実にレベルアップしている。

学業にも励み、模範となる生活習慣を身に付ける。そして、バスケットボールを通じて自主性を育み、社会人として通用する心を養うことが指導の土台にある。生涯を通してバスケットボールに携わってほしいという思いから、教員免許やコーチ・審判ライセンスを積極的に取得するよう指導している。

▶監督／小林正三
▶活動日／月・火・木・金(16:30~19:30)、土(13:00~16:00)、休日(水・日)
▶活動場所／第1体育館
▶部員数／23名



年間スケジュール SCHEDULE

4	■ 笹本杯争奪北信越大学バスケットボール 春季大学リーグ戦
5	■ 石川県リーグ
6	■ 西日本学生選手権大会 ■ 石川県総合選手権大会(皇后杯石川県予選)
10	■ 北信越学生バスケットボール選手権大会兼インカレ予選
12	■ 全日本大学バスケットボール選手権大会(インカレ)
2	■ 安田杯争奪石川県学生バスケットボール選手権

浅間 美紀
(人間健康学部スポーツ健康学科2年・石川県立金沢商業高校出身)
恵まれた体格を生かして攻守にわたってチームに貢献した。石川県成年女子の候補選手にも選出されている。



□ 監督の胸の内

人間力を育み、将来見据えて バスケットボールに取り組む

バスケットボールは一人ではできないスポーツである。仲間の5人、相手を入れれば10人の動きを考えてプレーしなければならない。それは、社会に出てからも同様である。たくさんの人との関わりの中で、その関わる人たちの気持ちを考え行動しなければ組織というものは成り立たないのである。だからこそ人間関係の構築の仕方を大切にして指導している。学生たちには、4年間の部活動で経験する多くのことを将来につなげるよう、一日一日を大切にしてバスケットボールに向き合うことの大切さを説く。

2019年度は春季リーグで二部優勝を果たし一部昇格を決めた。秋のインカレ予選ではインカレ出場にあと一歩まで迫る第3位に入るなど、この一年間で急速にチームがレベルアップしている。そんな中でも、教員や管理栄養士などを目指して学業に打ち込むことで、チーム目標と個人のキャリア目標を達成するため、学生たちの努力にエールを贈る。

小林 正三 女子監督

石川県立金沢西高校、日本体育大学卒。石川県バスケットボール協会副会長。金沢西高校を全国ベスト8に導くなど、高校での指導歴は34年間に及ぶ。

BASKETBALL

信頼の指導者たち COACHING STAFF



瀧音 健太郎

コーチ

石川県立工業高校、日本体育大学卒。2014年に北陸学院大学女子バスケットボール部のコーチとなり、2015年には北信越大学選手権で優勝、インカレに導く。19年から本学コーチ。



▶ 主な戦績

2018

- 近県大会 >> 二回戦敗退
- 笹本杯争奪北信越大学バスケットボール春季リーグ戦 >> 2部 2位
- 西日本学生選手権 >> 二回戦敗退
- 石川県総合選手権 >> 3位
- 北信越大学選手権大会兼インカレ予選 >> 二回戦敗退
- 石川県学生選手権 >> 3位

2019

- 近県大会 >> 二回戦敗退
- 笹本杯争奪北信越大学バスケットボール春季リーグ戦 >> 2部 優勝
- 西日本学生選手権 >> 二回戦敗退
- 石川県総合選手権 >> 3位
- 北信越大学選手権大会兼インカレ予選 >> 3位
- 石川県リーグ >> 1部 4位



練習環境

第1体育館で週4回、練習は1回につき3時間行う。他の日はトレーニング場で活動する。



西岡 恵里

(人間健康学部健康栄養学科1年・大阪・大阪桐蔭高校出身)

全国でもトップレベルにある大阪桐蔭高校出身。本学でも活躍が期待されている。



安田 あいり

(文部科学部教育学科3年・石川・金沢学院高校出身)

高い身体能力を生かして、全国強豪校出身の相手でも臆することなく向かっていき得点を決め、2019年度の北信越大学選手権3位に大きく貢献した。本チームの中心選手。

▶ 卒業生の主な就職先

【経営システム学科】ニューハウス工業(株) 【スポーツ健康学科】日本郵政、石川ヤナセ(株)、福井県民生活協同組合、株エラン、株電陽社、JA志賀

PICK UP ピックアップ選手

チームの頼れる 大黒柱へ

チーム最大目標である「インカレ出場」を目標にチーム一丸となり、どんな練習でもみんなで楽しく笑顔で取り組んでいます。また例年に比べ平均身長が高く、チーム全員が自分の持ち味を発揮できるところがチームの魅力だと思います。私の目標は、エースとしてチームをけん引し、インカレに出場させることです。学習の面でも「文武両道」を目標に夢に向かって頑張っています。



林田 瑞季
文部科学部教育学科2年
大阪府立大塚高校出身

PICK UP ピックアップ選手

目標達成のために 主将としての責任果たす

インカレ出場を目標とし、日々練習に励んでいます。メンバーは学年問わずに仲が良く、のびのびプレーができるのがこのチームの魅力です。私の目標は、率先した行動力を持ち、どんな時も仲間に頼られる責任感のある主将になることです。大学は専門分野の勉強も部活動も両立できる環境です。4年間の授業と部活動で学んだことを社会に出ても生かしていくように努めます。



小泉 桃子
人間健康学部スポーツ健康学科4年
石川・金沢学院高校出身

●バレー部

新たなスタート!
王座奪還へ向け
「追いつけ! 追い越せ!」

北信越大学大会10回の優勝と、全日本インカレベスト16入賞の実績を持つ。毎年2月に行われる石川県ウインターリーグでは女子が3年連続で優勝を果たしている。近年、目標にしている北信越リーグ優勝は達成できていないが、今年からチームをけん引する新監督の下、王座奪還へ向け、格上のチームに「追いつけ! 追い越せ!」で一人一人が意識を高く、日々努力を積み重ねている。

部活動では、競技力向上だけでなく、基本的な生活習慣を身に付け、文武両道のバランスの取れた学生生活を送ることを目的とする。卒業後も、それぞれの場所で活躍できる人間力を養っていく。

- ▶監督／中村 英里子
- ▶活動日／月・水・金 女子(16:30~19:00) 男子(19:00~21:00)
土 女子(9:00~12:00)
- ▶活動場所／第1体育館
- ▶部員数／34名(男子16名、女子18名)



年間スケジュール SCHEDULE

4	■森田杯北陸三県大学バレー部春季リーグ戦
5	■石川県バレー部祭 ■春季北信越大学バレー部選手権大会
6	■東日本大学バレー部選手権大会
10	■秋季北信越大学バレー部選手権大会

II	■全日本バレー部大学男女選手権大会
12	■石川県6人制総合男女バレー部交流会
2	■石川県ウインターリーグ



花野 由佳子 選手
(短大・現代教養学科2年
福井・啓新高校出身)
泥臭く、どんなボールも食ら
いついて落とさないリベロ
プレーヤー。黙々とパスを供
給し、コンビバレーを確立す
る上で欠かせない存在。

□ 監督の胸の内

長所を生かした戦術で 学院大らしさを確立!

バレーボールは一人ではできない競技であり、仲間のミスをカバーし、そのミスを成功(得点)に結び付けることができる素敵な競技。試合中は、予想外のことがよく起きるが、そのような状況でも瞬時に考え、その時のベストを選択し実行する。その結果、成功することも失敗することもあるだろう。しかし、そのすべてが貴重な経験となる。

部員には、バレーボールを通じて仲間を思いやる気持ち、目標達成に向けて全力で取り組むことを学んで欲しい。日々の小さな積み重ねが、後の大きな成果につながることも実感してもらいたい。一人一人が高校時代に培ってきたものをベースに、技術力向上はもちろん、戦術面でそれぞれの長所が生かせるよう工夫し、金沢学院大学らしい元気と明るさで、まずは北信越優勝を目指す。そして、長年続けてきたバレーボールをこれまで以上に好きになり、楽しんでもらいたい。

中村 英里子 監督

星稜高校、東京女子体育大学卒業後、Vリーグのプレス浜松へ入団。インカレベスト8、2012年全国6人制総合優勝大会優勝、14年全国6人制総合優勝大会優勝、Vチャレンジリーグ2位(2016/17シーズン)。



VOLLEYBALL

信頼の指導者たち COACHING STAFF



平井 敦夫

総監督

金沢大学教育学部卒。1975年に金沢女子短期大学へ着任して以来、バレーボール部の指導に当たる。指導した学生たちは社会に出て活躍し、親子二代の教え子もいる。金沢学院大学名誉教授。



▶ 主な戦績

2018

- 北陸三県大学バレーボール春季リーグ戦
 - » 女子1部 3位、男子3部 出場
- 春季北信越大学バレーボール大会
 - » 女子1部 6位、男子3部 出場
- 石川県ウインターリーグ
 - » 女子 優勝

2019

- 北陸三県大学バレーボール春季リーグ戦
 - » 女子1部 3位、男子3部 1位
- 春季北信越大学バレーボール大会
 - » 女子1部 6位、男子3部 出場
- 石川県6人制総合男女バレーボール交流会
 - » 女子 優勝



北信越大学2部昇格を目指す男子。
目標達成に向けて、練習に打ち込む。



石川県6人制総合男女交流会で初優勝した
当時のメンバー=2019年12月、金沢市内

PICK UP ピックアップ選手

北信越優勝・インカレ出場へ自覚と責任、プライドを胸に
北信越優勝・インカレ出場を目標に日々練習に励んでいます。授業の履修の関係上、全員そろっての練習が出来ない日もあります。そのような状況であっても、チーム全員が共通理解を持ち、チーム力が維持できるよう選手一人一人が自覚と責任、プライドを持って取り組んでいます。また、技術だけではなく人としても成長できるよう、新しい監督の下、切磋琢磨しながら練習に励んでいます。



道下 瑞乃
文学部教育学科3年
石川・星稜高校出身

PICK UP ピックアップ選手

緊張感持って練習に一本一本の質にこだわり
私は、全日本インカレ出場という目標を達成するために、日々先輩たちの姿を見て学び、本気でバレーボールに向かっています。大学生になり、これまでのところ、まだ公式戦を経験したことなく、不安や緊張はありますが、とても楽しみです。試合でコートに立ったときに自分の力が發揮できるよう、限られた練習時間の中で一本一本の質にこだわり、緊張感を持って練習しています。



向出 沢 選手

(人間健康学部スポーツ健康学科
2年・石川県立小松商業高校出身)
学院大バレー攻守の要。攻撃の幅、決定力は北信越でも1、2を争う絶対的エース。常に強気で攻める姿勢、負けん気の強さでチームを引っ張る大黒柱。

▶ 卒業生の主な就職先

【経営ビジネス学科】株小松電業所、富山トヨタ自動車株
【経営システム学科】愛知県警
【スポーツ健康学科】株ヤナセ自動車、浦田クリニック、クラシス株、株ブレステージ・インターナショナル、株サンウェルズ、
株スポーツフィールド



杉田 夏海
短大・幼稚教育学科1年
新潟・関根学園高校出身

ソフトテニス部

全日本王座決定戦へ 北信越勝ち抜き



- ▶監督／中島 義春
- ▶活動日／火・木(10:30~19:00)※空き時間に随時、土(10:30~18:00)
- ▶活動場所／第2体育館前テニスコート
- ▶部員数／32名(男子24名、女子8名)



全日本大学ソフトテニス王座決定戦には、男女ともに出場権を獲得してきた伝統を誇る。北信越学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦では、男子が過去に団体優勝5回、個人優勝も2回果たしている。女子も2回個人優勝の栄冠を手にしている。

男子が2部に入れ替えになった時期もあったが、現在は男女ともに1部でのぎを削り、優勝を目指して日々鍛錬を重ねている。学生自身が自主性・主体性を持ち、明るく楽しく練習に取り組んでいる。

男女ともにリーグ戦を勝ち抜き、全日本王座決定戦への出場を目指している。



年間スケジュール SCHEDULE

4	■ 北信越学生大学対抗リーグ戦大会
5	■ 北信越学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦大会 ■ 選手権大会
8	■ 全日本学生大会
9	■ 学生選手権大会 ■ 森田杯北信越学生ソフトテニスチーム対抗戦大会
10	■ 北信越学生大学対抗リーグ戦大会 ■ 選手権大会
11	■ 北信越学生ソフトテニス室内選抜選手権大会
3	■ 北信越学生シングルス選手権大会



□ 監督の胸の内

自身のコーチであれ

部員には、日頃から「選手である前に自身のコーチであれ」と説く。ソフトテニス競技のパフォーマンスの向上だけでなく、同じ大学でソフトテニスをする仲間がともに尊敬しあい、競技を通して人間的に成長することが何よりも大切だと考える。

ソフトテニスの競技力をつけるとともに、大学生としてのわきまえのある行動を身に付けるよう努める。周囲への感謝の心を忘れず、自他を尊敬し総合的な人間力を養うことで、社会に求められる人材になることを目指す。

ソフトテニスが好きなメンバーが自発的に集まった集団の中で、ともに高い目標を持ち、勝利を目指して互いに刺激し合い、一体感を味わいながら大学生として文武両道の日々を過ごしている。

中島 義春 監督

SOFT TENNIS

信頼の指導者たち COACHING STAFF

中島 義春

監督

石川県立工業高校、中京大学卒。全日本学生王座決定戦優勝、インカレ個人ベスト4、全日本選手権ベスト4、国体石川県代表選手としての実績を持つ。金沢学院高校ソフトテニス部顧問、石川県高体連ソフトテニス専門部強化部長を兼任する。



▶ 主な戦績

2018

- 北信越学生シングルス大会
» 女子 橋本 優勝
- 春季北陸三県学生大会
» 男子団体 3位、男子個人 松本・西田ペア 3位
女子団体 優勝、女子個人 橋本・瀬戸ペア 2位
- 春季北信越学生大会
» 女子団体 1部 2位、女子個人 橋本・佐藤ペア 3位

2019

- 北信越学生シングルス大会 >> 女子 橋本 優勝
- 春季北陸三県学生大会
» 男子団体 3位、男子個人 松本・西田ペア 3位 / 女子団体 3位、女子個人 橋本・浅野ペア 優勝
- 春季北信越学生大会 >> 女子団体 2部 1位、1部 昇格
- 夏季北陸三県学生大会
» 男子個人 松本・西田ペア 優勝 / 女子団体 優勝、女子個人 橋本・北ペア 3位
- 北信越森田杯 >> 男女団体 アベック優勝



練習環境

第2体育館前の人工芝テニスコート2面で練習する。



PICK UP
ピックアップ選手

自主性を重視する練習
自己分析力の向上に有効

ソフトテニス部は活発な運動部です。男女ともに北信越大会優勝と全日本王座決定戦出場を目指して練習に励んでいます。部員がそろっての全体練習もありますが、自主性を重視し、練習の時間や内容は各自に任せています。与えられた練習だけではなく、今の自分に何が必要なのか、課題を克服するには何が必要かを考えることで、自己分析力が身に付いたと思います。成長は自分次第です。



松本 彰太

人間健康学部スポーツ健康学科3年
石川県立小松工業高校出身

PICK UP
ピックアップ選手

スポーツ関係への就職目指して
勉強にも部活にも全力で

男女ともに北信越学生ソフトテニスリーグ戦の1部優勝、全国大会出場を目指して練習に取り組んでいます。日頃、部員同士はとても仲が良いのですが、練習の時には互いに厳しく向き合い、それぞれが持つ能力を高め合うことができます。人間として成長する場になっているのです。スポーツ関係への就職を希望しており、希望をかなえるために、勉強にも部活にも全力で取り組んでいます。



▶ 卒業生の主な就職先

【文学部】株クラスコ、石川県庁、クスリのアオキ、日本郵政、一般社団法人新潟県労働衛生医学協会
【人間健康学部】株サンウェルズ【短大・現代教養学科】パナソニック株ライフソリューションズ社



西村 理伽

人間健康学部スポーツ健康学科3年
石川・金沢学院高校出身



弓道部

伝統に恥じない正しい射で
より高いレベルを目指す

- ▶監督／渡邊琢夫
- ▶活動日／月・火・水・金(17:00~19:00)、土(9:00~12:00)、休日(木・日)
- ▶活動場所／大学弓道場
- ▶部員数／23名(男子15名、女子8名)



1984年に金沢女子短期大学弓道同好会として発足、1986年に弓道部へ昇格した。1987年金沢女子大学弓道部が誕生、1995年、男女共学の金沢学院大学弓道部になった。弓道部は誕生以来「基本的に忠実、正確な弓を引く」という目標を掲げ、全日本学生選手権大会(インカレ)や北信越学生選手権大会で個人や団体戦で入賞といった成績を重ねてきた。2019年の北信越学生選手権大会では女子個人戦の優勝、準優勝、女子団体戦の準優勝と、重ねてきた稽古に裏打ちされた強さを發揮した。今後も伝統に恥じない戦いをしていきたい。



年間スケジュール SCHEDULE

4	■道場開設記念射会
5	■春季県内大学定期対抗戦
6	■インカレ個人戦北信越地区予選会
7	■全国大学弓道選抜大会
8	■部内班対抗弓人選手権大会
9	■秋季強化合宿(長野県)
10	■富山大学・金沢工業大学定期対抗戦
11	■福井大学・金沢工业大学定期対抗戦
12	■北信越学生弓道選手権大会
1	■秋季県内大学定期対抗戦
2	■全日本学生弓道王座決定戦
3	■東西学生弓道選抜対抗戦合
4	■卒業生納射会
5	■春季強化合宿(県内)
6	■春季北信越学生弓道大会





監督の胸の内

正射必中。基本に忠実で正確な弓を引く。

弓道は、揺れ動く己の心と向き合う武道である。弓道部が目指すものは、中りという結果ではなく、射技、体配といった基本動作に常に忠実に弓を引くことにある。その上で平常心を中心にして置くことができれば、その結果として的中がある。正射必中。それでは、どのようにすれば正しい射に近づけるのか。部員たちは日々考え悩みながら稽古に取り組む。

試合の緊張の中で普段の稽古の成果を発揮するためにはどうすればよいのか。緊張の中でも崩れない確固とした射とはどうものなのかなを考え、試み、うまく行かなければさらなる研究を重ねる。そして、部員同士で経験を伝え合い、互いに切磋琢磨し、石川県弓道連盟の指導部長でもあるコーチの指導を自分のものとする努力を続けながら、正しい射を追い求めるのである。

渡邊 琢夫 監督

宮城県立仙台第一高校卒、東北大学大学院修了。
医師。弓道三段。金沢学院大学人間健康学部教授。2019年弓道部部長に就任、2020年から現職。



練習環境

学内の弓道場(六人立ち)で練習する。空き時間を利用し、道場での練習ができる。弓なども十分揃っていて、初心者でも安心して始めることができる。



藤橋 りょう

(経営情報学部経営情報学科2年・石川県立鹿西高校出身)
基本動作を着実に身に付けてさらなる活躍が期待される。

廣田 壮史

(人間健康学部スポーツ健康学科3年・福井・北陸高校出身)
主将として弓道部を取りまとめるリーダーシップを発揮。

PICK UP

ピックアップ選手

時間の大切さを認識
精神を統一して弓を射る

去年より今年、昨日より今日とより良い成績を残せるよう意識し日々の稽古を重ねています。そのような中で、自分が思い描いたイメージ通りにいかず辛い思いをすることもありますが、他の部員たちとともに目標に向かって進んでいます。今年度はいつものような稽古が出来ず、時間の大切さに気付かされました。今後はこれまでに増して精神を統一して、稽古に励んでいきます。



峯村 爽

文学部文学科3年
新潟県立長岡向陵高校出身
北信越学生弓道選手権大会 女子個人 優勝
女子団体 準優勝

PICK UP

ピックアップ選手

北信越団体優勝を目指して現役最後の年を悔いなく

2020年は北信越団体優勝を目標に設定しています。目標を達成するため、部員同士が意見を出し合い、互いに高め合いながら、日々の稽古に取り組んでいきたいと思います。今年は現役最後の年を迎えます。部長、監督をはじめお世話になった皆さんや先輩方、関係者の方々に少しでも恩返しができるように、稽古や試合など何事にも全力で取り組み、悔いがなく部活動を締めくれるよう頑張ります。



濱谷 日和

経営情報学部経営情報学科3年
富山県立氷見高校出身
北信越学生弓道選手権大会
女子個人 準優勝、女子団体 準優勝

KUDO

信頼の指導者たち COACHING STAFF



中村 晋也

部長
山口県立山口高校、奈良大学卒。金沢学院大学文学部准教授。2016年弓道部部長、2020年から現職。



池田 忠明

コーチ
新潟県立長岡高校、日本大学卒。教士七段、石川県弓道連盟指導部長。公益財団法人日本体育協会公認上級指導員。2016年弓道部部長、2020年から現職。



▶ 主な戦績

2018

- 春季北信越学生弓道大会
» 女子団体 優勝
- 春季県内大学定期対抗戦
» 女子団体 優勝／女子個人 優勝、3位
- 富山大学・金沢工業大学定期対抗戦
» 女子個人 3位
- 福井大学・金沢工業大学定期対抗戦
» 女子団体 優勝／男子個人 優勝、2位、3位／女子個人 2位
- 秋季北信越学生弓道選手権大会
» 女子団体 3位
- 秋季県内大学定期対抗戦
» 女子団体 優勝／女子個人 優勝、2位、3位

2019

- 春季県内大学定期対抗戦
» 女子団体 優勝／女子個人 優勝、3位
- 富山大学・金沢工業大学定期対抗戦
» 女子団体 優勝／男子個人 2位／女子個人 優勝、2位
- 福井大学・金沢工業大学定期対抗戦
» 女子団体 優勝／女子個人 優勝、2位
- 秋季北信越学生弓道選手権大会
» 女子団体 2位／女子個人 優勝、2位
- 秋季県内大学定期対抗戦
» 男子団体 3位／女子団体 優勝／女子個人 優勝、3位

▶ 卒業生の主な就職先

【文学科】コネクシオ株、味一番フード、JAなど 【経営ビジネス学科】株日本瓦斯、株マルキ建材、株エイジェック、ゲンキー株 【経営システム学科】テレコムサービス株 【芸術学科】丸和電業株、DMM GAMES 【スポーツ健康学科】株北陸マツダ、生活協同組合コープ石川、鯖江丹生消防組合 【短大・食物栄養学科】株ニチダン

陸上部

▶監督／金子 順也
▶活動日／月・火・水・金(17:00~19:30)、土(9:30~12:00)、休日(木・日)
▶活動場所／金沢市営陸上競技場、西部緑地公園陸上競技場、大学トレーニングセンターほか
▶部員数／29名(男子22名、女子7名)



初の全国入賞を目指して 「心ひとつに」をテーマに

チームテーマは「心ひとつに」。この言葉に思いを定め、今年は創部初の全国入賞を目指す。2019年は日本学生陸上競技対校選手権大会(日本インカレ)に棒高跳でも出場するなど活躍の幅を広げて着々と戦績を積み重ねている。創部から4年目の2007年に男子400mリレーで日本選手権に出場、その後、日本インカレに出場を果たしてきた流れを確固たるものにしたい。

年間スケジュール SCHEDULE

4	■加賀市記録会 ■小松市記録会	■日本インカレ ■七尾城山記録会 ■白山市選手権
5	■北信越インカレ ■石川県選手権 ■七尾城山記録会	■北信越学生選手権
7	■国体県予選会 ■能美市ナイター ■北日本インカレ	■小松市フェスティバル
8	■北陸選手権	
9		
10		
11		



TRACK & FIELD

信頼の指導者 COACHING STAFF



金子 順也

監督
金沢高校、順天堂大学卒。高校でインターハイ 国体の800m、1500m、大学では日本選手権、国体の800mに出場し、800mで当時の石川県記録を樹立。学生としての自覚を持ち自律と自立ができる選手の育成に取り組む。



枝元 香菜子

コーチ
横浜共立学園高校、東京学芸大学卒。同大学院修士課程修了。修士(教育学)。トレイルランニングやマラソンを中心に取り組む市民ランナー。Trans Jeju 112K(2019年)優勝、金沢マラソン2019 10位。



野寺 巧寛

コーチ
茨城県立下妻第一高校、明治大学卒。同大学院博士前期課程修了。修士(法學)。学生時代は同大学競走部のマネージャーを務めながら、箱根駅伝の運営に携わった。世界陸連認定国内技術委員(NTO)。日本学連倫理委員会委員。

▶卒業生の主な就職先

【文学科】JA金沢市【経営システム学科】昭和精工株
【経営ビジネス学科】株タケキコーポレーション
【スポーツ健康学科】富山県教委、株小松製作所、損害保険ジャパン
日本興亜株、石友ホーム株、株サンウェルズ、石川ダイハツ販売株、株丸八

▶主な戦績

2018

- 北信越学生陸上競技対校選手権大会(北信越インカレ)
 - >> 男子棒高跳 2位、男子200m 6位、男子砲丸投 8位、女子100mH 4位
- 北信越学生陸上競技選手権大会
 - >> 男子棒高跳 4位、女子100mH 3位

2019

- 天皇賜杯日本学生陸上競技対校選手権大会(日本インカレ)
 - >> 男子棒高跳 出場
- 北信越学生陸上競技対校選手権大会(北信越インカレ)
 - >> 男子棒高跳 1位、男子砲丸投 5位、男子走幅跳 6位、男子200m 8位
女子100mH 6位
- 北信越学生陸上競技選手権大会
 - >> 男子棒高跳 1位、男子砲丸投 5位、女子100mH 4位、女子800m 8位

木下 翔太

(経営情報学部経営情報学科
2年・石川・金沢高校出身)
2018年インターハイ出場(砲丸投)。2018年男子砲丸投
石川県高校記録樹立。



林 良樹

(人間健康学部スポーツ健康学科3年・石川・金沢高校出身)
2017年インターハイ出場、同年国体8位。2019年
北信越インカレ優勝、同年日本インカレ出場(いずれも棒高跳)。

ゴルフ部

- 監督／太田 憲治
- 活動日／月～金(17:00～19:00)、土・日(14:00～18:00)、休日(不定期)
- 活動場所／片山津ゴルフ倶楽部、花里ゴルフ(ゴルフ練習場)など
- 部員数／5名



片山津ゴルフ倶楽部で 技術を高め全国大会へ

中部ゴルフ連盟・中部学生ゴルフ連盟の主催競技を足掛かりに、日本学生選手権や全国大学対抗戦出場を目指し、難易度の高い片山津ゴルフ倶楽部・白山コースでラウンド練習に励む。2019年は4年生からプロテスト合格者、1年生から佐々部杯優勝者を輩出、中部・日本で通用するゴルフアーチーが育っており、現部員も先輩に統けと切磋琢磨し技術向上に励んでいる。

年間スケジュール SCHEDULE

4	■4月定例会 ■中日杯中部学生ゴルフ選手権
5	■中部アマチュア ■春季中部学生1部対抗戦
6	■6月定例会 ■全国大学対抗戦 ■CBCテレビ杯中部学生マッチプレー選手権
7	■中部オープン ■北陸オープン ■日本オープン地区予選
8	■中部学生選手権 ■日本学生選手権
9	■中部学生新人戦 ■秋季中部学生1部対抗戦兼信夫杯 ■日本大学対抗戦予選
10	■10月定例会 ■朝日杯日本学生選手権
11	■会長杯中部学生選手権



PICK UP ピックアップ選手

恵まれた練習環境で、全国大会目指す

片山津ゴルフ倶楽部白山コースで練習に打ち込む恵まれた環境にあります。レベルの高い先輩からのアドバイスに刺激を受けています。人間健康学部スポーツビジネス専攻に所属、ビジネスとゴルフを両立する取り組みを目指すとともに、全国大会出場を目標に練習に励みます。



松居 大五

人間健康学部スポーツ健康学科1年
福井・敦賀気比高校出身

GOLF

信頼の指導者たち COACHING STAFF



太田 憲治

監督

石川県立金沢二水高校、金沢大学工学部卒。2019年から国体ゴルフ競技石川県代表・少年男子チームのコーチも務める。片山津ゴルフ倶楽部を指定練習場として、学生の技術向上をサポートしている。



棟田 雅也

部長

福井県立福井商業高校、岐阜経済大学卒、大阪体育大学大学院スポーツ科学研究科(修士課程修了)。2018年度から金沢学院大学ゴルフ部部長。現在、金沢学院大学人間健康学部スポーツ健康学科助教。

▶ 卒業生の主な就職先

【経営情報学部】株丸菱、石川日産自動車販売株 【美術学科】株オスカージ. J.J 【スポーツ健康学科】片山津ゴルフ倶楽部

▶ 主な戦績

2018

- 石川県アマチュアゴルフ選手権
» 優勝
- 中部学生ゴルフ選手権
» 優勝
- 日本学生ゴルフ選手権
» 7位
- 福井国体ゴルフ競技
» 出場選手3名中2名は本学ゴルフ部員

2019

- 第49回中部学生ゴルフ選手権競技
» 7位
- 第73回日本学生ゴルフ選手権競技
» 51位
- 文部科学大臣杯争奪日本学生ゴルフ王座決定戦
» 57位
- 第41回佐々部杯ゴルフ選手権競技
» 優勝

卓球部

▶ 部長／藤原 勝夫 ▶ 副部長／清田 直恵 ▶ 監督／福田 浩之
 ▶ 活動日／月・水・金(16:30~19:30)、土(13:00~17:00)
 ▶ 活動場所／金沢学院高校卓球場
 ▶ 部員数／10名(男子4名、女子6名)



金沢学院から全国へ 目指すは「文武両道」

少人数ながら、部員の自主・自立性を尊重し、日々練習に励む。目指すは文武両道。「卓球がしたい」と思い、技術を磨きたい、試合で活躍したいと希望する学生に門戸を開く。「金沢学院から全国へ」を合言葉に、北信越優勝というチームの目標と同時に、一人一人が個々の目標を掲げ、人間としてより大きく成長することを目指す。

年間スケジュール SCHEDULE

4	■ 全国百万石オープン
5	■ 春季北信越学生選手権大会(インカレ予選) ■ 中部日本選手権 県予選
6	■ 全日本大学総合選手権大会(団体の部)
7	■ 中部日本選手権大会
9	■ 夏季北信越学生選手権大会(全日学予選)
10	■ 大阪国際招待選手権大会 県予選 ■ 全日本学生選手権大会(個人の部)
11	■ 秋季北信越学生選手権大会 ■ 全日本選手権大会 県予選
12	■ 北信越学生新人選手権大会 ■ 石川県選手権大会
3	■ 石川県団体選手権大会



内記 雪乃

(短大・現代教養学科1年・石川・
金沢学院高校出身)
2018年度全国高校選抜大会
団体メンバーとして出場。



信頼の指導者 COACHING STAFF



福田 浩之

監督

石川県立七尾商業高校、名古屋商科大学卒。全日本、国体にも出場し、石川県選手権ダブルス4連覇。金沢学院高校卓球部を長年指導し、男女とも強豪校として活躍している。「今よりもスキルアップ」を合言葉に練習に取り組み、技術を磨いている。



清水 壱政

(人間健康学部スポーツ健康学科1年・福井県立敦賀高校出身)
2019年度全国高校総体団体メンバーとして出場。

▶ 卒業生の主な就職先

【文学科】若松梶包運輸倉庫株式会社 【経営情報学科】株式会社アオキ、富木医療器株式会社 【健康栄養学科】富士産業株式会社

▶ 主な戦績

2018

- 春季北信越学生卓球選手権大会(インカレ予選)
▶ 団体(女子)2部 3位、シングルス(女子) ベスト16
- 中部日本卓球選手権大会
▶ シングルス、ダブルス出場
- 秋季北信越学生卓球選手権大会
▶ 団体(女子)2部 3位

2019

- 春季北信越学生卓球選手権大会(インカレ予選)
▶ 団体(女子)2部 優勝(1部昇格)
- 中部日本卓球選手権大会 ▶ シングルス、ダブルス出場
- 秋季北信越学生卓球選手権大会
▶ 団体(女子)1部 4位、1部・2部入替戦勝利で1部残留
- 北信越学生卓球新人選手権大会 ▶ シングルス(女子) ベスト16



PICK UP ピックアップ選手

学業と部活の両立を目指して

先輩方の頑張りで2019シーズンは創部2年目で1部に昇格しました。2020年は自分の力を出し切ってチームの勝利に貢献したいと思います。技術面だけではなく、学生としての成長を目指し、学業と部活動を両立して全日本学生選手権への出場に向けて頑張ります。



竹山 美菜

短大・食物栄養学科1年
富山県立高岡西高校出身

硬式テニス部



自主性尊重の練習 「全員で選手権予選突破」

「全員で選手権予選突破、本選出場」を目標に掲げ、練習に打ち込む。自主性を尊重しており、キャプテンを中心に自分たちで練習内容を決めます。個人の技術力が高く、フレンドリーで明るい雰囲気で活動している。

年間スケジュール SCHEDULE

4	■北信越学生 テニストーナメント大会	11	■北信越学生 室内テニス選手権大会
8	■北信越学生 テニス選手権大会	12	■北信越学生 室内テニス選手権大会
9	■北信越学生 テニス選手権大会	3	■北信越学生 テニストーナメント大会
10	■北信越学生 新進テニス選手権大会		

初心者から上級者まで 技量に合わせた練習

創部から6年のクラブであり、初心者から上級者までが在籍している。個々の技量に合わせた練習メニューを考案し、「楽しい練習でレベルアップ」をモットーに、一人一人のスキルアップを目指している。

年間スケジュール SCHEDULE

4	■石川県マスターズ 春季水泳競技大会	9	■石川県マスターズ 秋季水泳競技大会
5	■いしかわスポーツ・ レクリエーション	11	■石川県マスターズ 選手権水泳競技大会
6	■石川県学生選手権 水泳競技大会		
7	■中部学生選手権 水泳競技大会		

卒業生の主な就職先

【経営情報学科】株中島商店、テックワン株、株ハチバン、アルビス株 【経営ビジネス学科】丸和電業株 【スポーツ健康学科】東邦ゴム株、株北陸マツダ、光葉スチール株、センティア

TENNIS



丸田 豊司
監督

石川県立羽咋高校、日本体育大学卒。2012年就任。金沢市室内選手権ダブルス優勝2回、同シングルス準優勝、石川県選手権ダブルス3位。個々の練習時間にはらつきがあるため、少人数で集中した練習を心掛ける。



水泳部



卒業生の主な就職先

【文学部】株エイジック、株柿崎機械 【経営情報学部】富山第一銀行、石川県警、鶴田製作所株 【人間健康学部】石川県警、ウエルシア株、株さくらホーム、日清医療食品株、ゴールドジムヴィテンのいち

SWIMMING



山脇 あゆみ
監督

聖母学院高校(現・京都聖母学院高校)、京都教育大学卒、同大学院、金沢大学大学院修了。1999年日本泳法小堀流初段位取得、同年日本泳法大会支重競技3位。水泳指導歴15年。現在、金沢学園大学人間健康学部講師。



剣道部

▶監督／西川篤
▶活動日／月・水・金(16:30~18:30)
▶活動場所／金沢学院高校武道場
▶部員数／7名



「剣道即生活」で心身を鍛錬

心身の練磨に努めている。「剣道即生活」と言われるように、全てのことが剣道に結びつき、剣道の修行が全ての生活につながる。また、己の弱点を知り、人の痛みを感じとることができるもの剣道の良さである。金沢学院高校剣道部員と一緒に日々の稽古で不屈の精神を養い、和の心を体現する。

▶卒業生の主な就職先

【経営情報学部】ホシザキ北信越株、ワールドインテック【人間健康学部】石川県警



西川篤
監督

星稜高校、大阪体育大学卒。石川県立金沢錦丘高校教諭を経て1994年、金沢東高校(現・金沢学院高校)に着任し、剣道部顧問も務める。2010年、石川国体少年女子チームのコーチとして5位入賞を果たす。剣道鍊士六段。



KENDO

年間スケジュール SCHEDULE

5	■石川県女子剣道大会
6	■石川県剣道選手権大会 ■石川県女子剣道選手権大会
8	■県民体育大会 ■県下段別剣道選手権大会
2	■都道府県対抗剣道優勝大会予選会

●軟式野球部

▶監督／中崎 崇志
▶活動日／水・金(16:30~18:30)、休日(練習日以外)※リーグ戦は土・日に開催
▶活動場所／大桑簡易グラウンド
▶部員数／20名(男子19名、女子1名)



日々の練習の積み重ねで 目指す全国の舞台

野球経験者から初心者まで、幅広いスキルの部員が集まり、軟式野球ならではの面白さ・難しさを感じながら練習を積んでいます。年2回の北陸地区のリーグ戦を勝ち抜き、夏と秋の大学選手権大会出場を目指す。

▶卒業生の主な就職先

【経営情報学部】石川県警、トーテックアメニティ株、アルビス株、いかるが運輸、株松村精型【人間健康学部】ホンダ四輪販売北陸、東建コーポレーション株、コマニー株

RUBBERBALL BASEBALL



中崎 崇志
監督

埼玉県立松山高校。金沢大学文学部卒。同大学院博士課程修了。博士(文学)。北陸地区大学軟式野球連盟理事。金沢学院大学文学部教授。



室 光翼
経営情報学部経営情報学科3年
石川県立鹿西高校出身



年間スケジュール SCHEDULE

4	■春季リーグ戦	9	■秋季リーグ戦
5	■春季リーグ戦	10	■秋季リーグ戦
▶主な戦績		2018	
■北陸リーグ戦第26回春季リーグ戦 >> 出場		2019	
■北陸リーグ戦第27回秋季リーグ戦 >> 3位			